

令和7年度
（2025年度）

事務概要書

吹田市保健所

目 次

第 1	沿革	1
第 2	市の概要	2
第 3	主たる事務所の付近見取り図	4
第 4	敷地及び庁舎・施設平面図	5
第 5	組織表	6
第 6	現員表	7
第 7	事務分掌	9
第 8	活動の指標（市内 3 か年比較）	11
第 9	事務事業執行概要	13

【保健医療総務室 事務概要】

1	医事関係事務	13
2	薬事関係事務	15
3	医療相談	17
4	医療機関の立入検査及び実地指導等	17
5	薬事関係立入検査	18
6	薬事関連啓発事業	19
7	その他薬事関連業務	20
8	保健所運営協議会	20
9	大阪府医療計画推進に係る会議	21
10	吹田市衛生検査所精度管理専門委員連絡会議	25
11	吹田市医療審議会	25
12	吹田市地域医療推進懇談会	26
13	吹田市医療に関する市民アンケート調査	27
14	吹田市地域医療推進市民講演会	27
15	豊能二次医療圏救急医療対策事業	28
16	地域のネットワーク会議等	28
17	健康危機管理に対する取組	29
18	統計事務	33
19	保健所業務の総合調整	33
20	施設設備の管理及び整備	33
21	保健衛生関係の表彰	34
22	厚生労働統計関係の表彰	34
23	研修及び実習指導関係	34
24	広報	35

【衛生管理課 事務概要】

1	食品衛生	36
2	環境衛生	45
3	狂犬病予防・動物愛護管理	50

【地域保健課 事務概要】

1	結核予防	54
2	感染症予防	59
3	性感染症予防	61
4	生活習慣病予防	62
5	精神保健	63
6	難病対策	68
7	放射線業務	71
8	予防接種	73

第 10	学会活動	84
------	------	----

第1 沿革

【吹田市保健所】	令和2年（2020年）4月1日～
令和2年4月1日 (2020年)	吹田市の中核市移行に伴い、保健所が大阪府から吹田市に移管され、吹田市保健所を開設した。
	保健所組織は、保健医療室、衛生管理課、地域保健課と隣接する保健センターで構成。
令和3年2月15日 (2021年)	健康まちづくり室の事務室を総合福祉会館5階に移転。
令和4年4月1日 (2022年)	組織改正により、保健所組織が、保健医療総務室(名称変更)、衛生管理課、地域保健課の3室課構成となる。
令和6年3月18日 (2024年)	総合福祉会館内の健康まちづくり室の事務室を保健所に移転。
令和6年4月1日 (2024年)	総合福祉会館内の地域保健課の事務室を保健所に移転し、保健所組織は、保健所内に集約した。

《参考》

【大阪府吹田保健所】 昭和19年（1944年）10月～令和2年（2020年）3月31日

第2 市の概要

吹田市は、北は箕面市、茨木市に、東は摂津市に、南は大阪市に、西は豊中市に接しており、その面積は 36.09km²、府面積の約2%を占めている。管内人口は 385,999 人、世帯数は 190,197 世帯(令和8年(2026 年)3月 31 日現在)である。

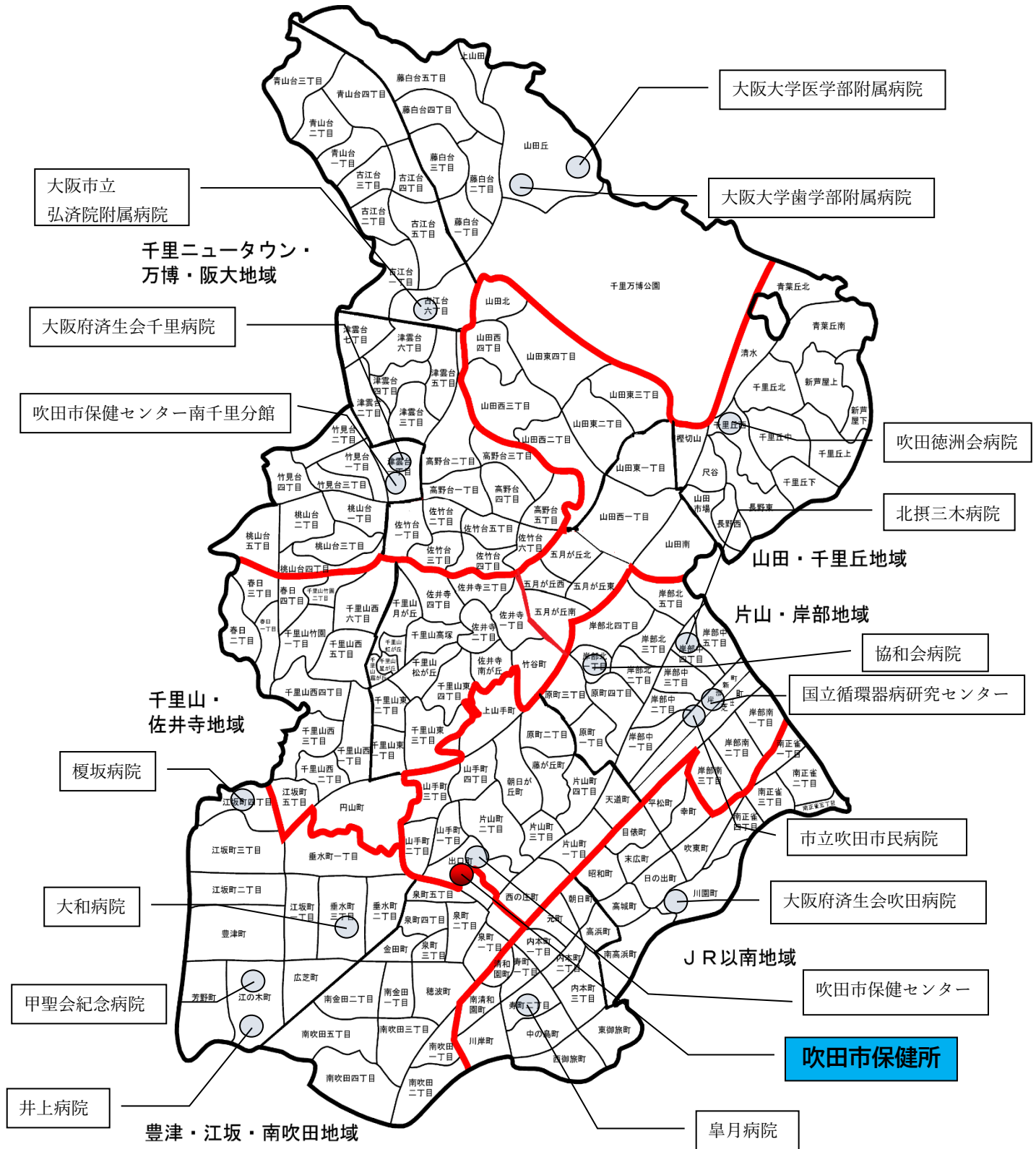
市の地理的環境は、古くから鉄道に沿って発達した中小事業所が多い南部地域、大阪市内に通勤するサラリーマンのベッドタウンとして整備された日本初の大規模団地である千里ニュータウンのある北西部地域、大阪の副都心として開発の続く地下鉄江坂駅を中心とした西部地域、田園都市から住宅産業都市へと変貌し、さらに企業進出が目ざましい東部地域から構成されている。

平成 26 年(2014 年)5月、「健康・医療のまちづくり」基本方針を定め、JR 岸辺駅前の吹田操車場跡地に移転した国立循環器病研究センターと市立吹田市民病院を中心に、循環器病についての予防医療や健康づくりの推進、市民参加型の循環器病予防の取組のモデル創成など、世界をリードする健康医療都市を目指している。

また、近年、千里ニュータウン、JR 以南地域をはじめとする市内の各地域で急速に進んでいる高齢化問題に対応していくため、健康づくりや健康寿命延伸の取組に力を入れている。

さらに、令和元年(2019 年)8月7日、保健衛生、環境等の幅広い分野の事務権限を持ち、市民の命と豊かな暮らしを支えるための取組を一層推進するため、総務大臣に中核市指定(政令)の申出を行い、同年 11 月 13 日、地方自治法第 252 条の 22 の規定に基づき中核市の指定に関する政令が公布された。これにより令和2年(2020 年)4月 1 日より、中核市となり吹田市保健所を開設した。

管内略図



第3 主たる事務所の付近見取り図

所在地:吹田市出口町 19 番3号

電話番号:保健医療総務室 06(6339)2225

衛生管理課 06(6339)2226

地域保健課 06(6339)2227

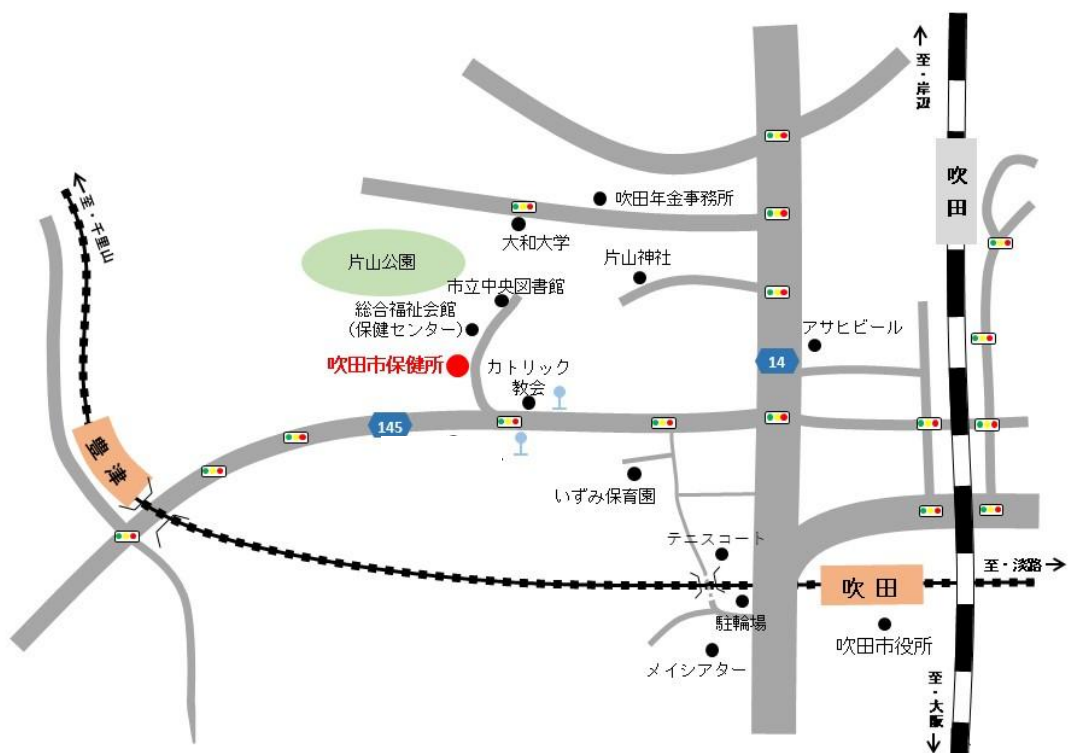
06(4860)6151 予防接種担当

ファックス:全室課共通 06(6339)2058

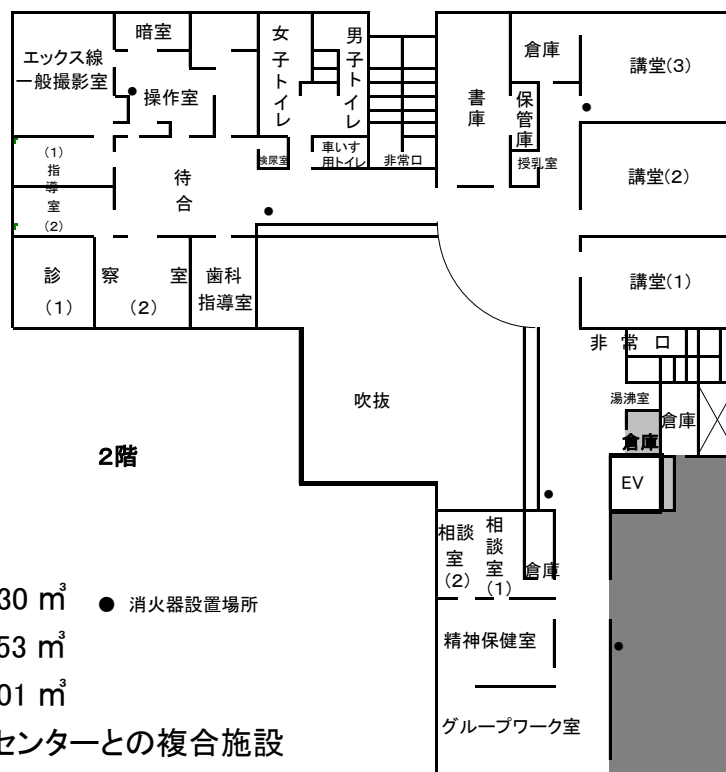
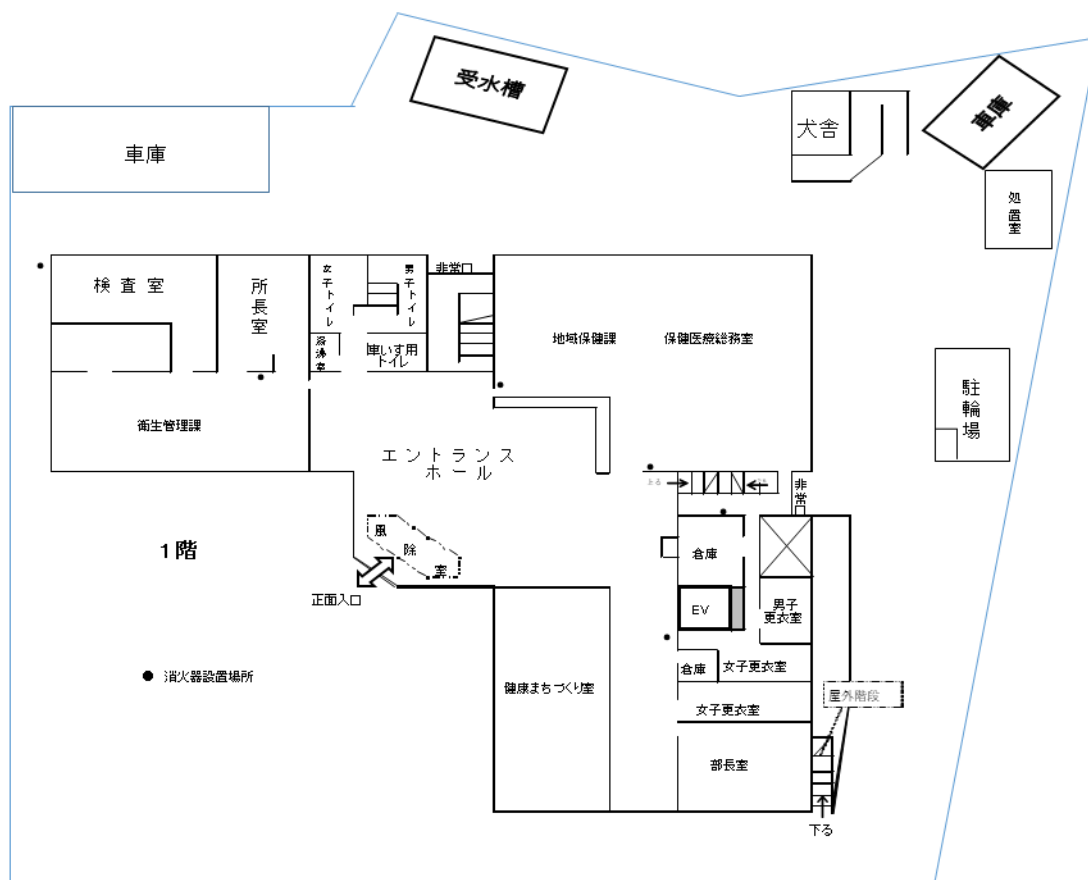
阪急電鉄千里線 吹田駅から徒歩約8分

阪急電鉄千里線 豊津駅から徒歩約8分

JR 京都線 吹田駅から徒歩約 15 分



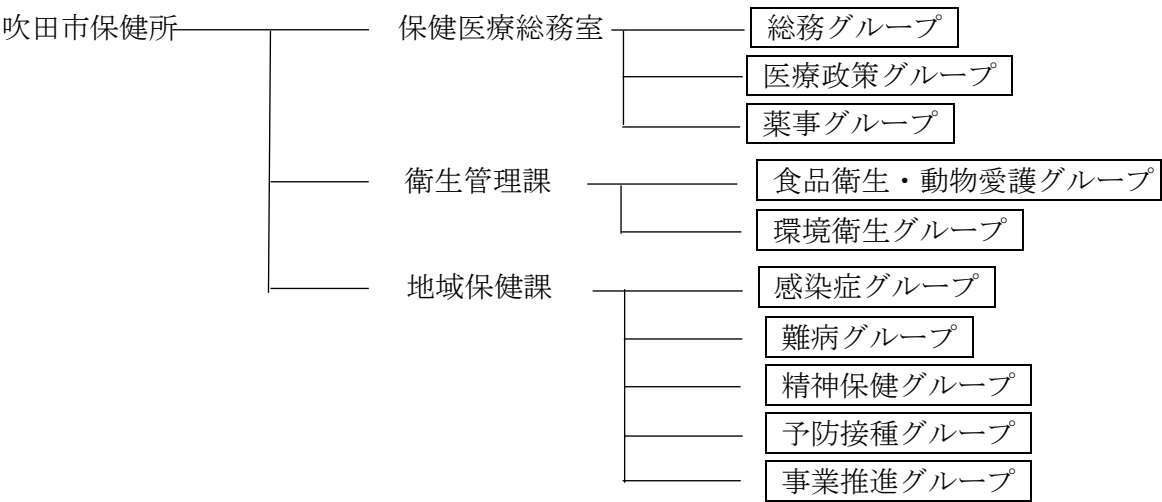
第4 敷地及び庁舎・施設平面図



建築面積(本館) 1,115.30 m³ ● 消火器設置場所
 延面積(本館) 2,933.53 m³
 敷地面積 3,000.01 m³
 大阪府吹田子ども家庭センターとの複合施設

第 5 組織表

令和 8 年（2026年） 4 月 1 日現在



第 6 現員表

令和 8 年（2026年） 3 月 3 1 日現在
（ ）内は大阪府職員数：内数

【職種別内訳】

室課名等	職別	職種	人数	
保健所全体	常勤職員	事務	2 0 名	(0 名)
		医師	2 名	(0 名)
		保健師	2 0 名	(0 名)
		精神保健福祉士	3 名	(0 名)
		診療放射線技師	1 名	(0 名)
		獣医師	7 名	(1 名)
		化学職	1 名	(0 名)
		薬剤師	1 1 名	(3 名)
		自動車運転手	1 名	(0 名)
		小計	6 6 名	(4 名)
	会計年度職員	事務補助	1 5 名	
		保健師	4 名	
		看護師	4 名	
		獣医師	1 名	
		薬剤師	0 名	
		小計	2 4 名	
	計		9 0 名	(4 名)

保健所長	常勤職員	医師	1 名	(0 名)
保健医療総務室	常勤職員	事務	9 名	(0 名)
		保健師	4 名	(0 名)
		薬剤師	5 名	(1 名)
		小計	1 8 名	(1 名)
	会計年度職員	事務補助	1 名	
		看護師	1 名	
		小計	2 名	
	計		2 0 名	(1 名)

衛生管理課	常勤職員	事務	4 名	(0 名)
		獣医師	7 名	(1 名)
		薬剤師	6 名	(2 名)
		化学職	1 名	(0 名)
		自動車運転手	1 名	(0 名)
		小計	1 9 名	(3 名)
	会計年度職員	事務補助	3 名	
		獣医師	1 名	
		薬剤師	0 名	
		小計	4 名	
	計		2 3 名	(3 名)

地域保健課	常勤職員	事務	7 名	(0 名)
		医師	1 名	(0 名)
		保健師	1 6 名	(0 名)
		精神保健福祉士	3 名	(0 名)
		診療放射線技師	1 名	(0 名)
		小計	2 8 名	(0 名)
	会計年度職員	事務補助	1 1 名	
		保健師	4 名	
		看護師	3 名	
		小計	1 8 名	
計		4 6 名	(0 名)	

【役職別内訳】

室課名等	職別	役職	人数	
保健所全体	常勤職員	部長級	1名	(0名)
		次長級	1名	(0名)
		課長級	7名	(3名)
		課長代理級	13名	(1名)
		主査	13名	(0名)
		主任・係員	31名	(0名)
		計	66名	(4名)
保健所長	常勤職員	部長級	1名	(0名)
保健医療総務室	常勤職員	次長級	1名	(0名)
		課長級	3名	(1名)
		課長代理級	2名	(0名)
		主査	3名	(0名)
		主任・係員	9名	(0名)
		小計	18名	(1名)
衛生管理課	常勤職員	課長級	2名	(2名)
		課長代理級	4名	(1名)
		主査	4名	(0名)
		主任・係員	9名	(0名)
		小計	19名	(3名)
地域保健課	常勤職員	課長級	2名	(0名)
		課長代理級	7名	(0名)
		主査	6名	(0名)
		主任・係員	13名	(0名)
		小計	28名	(0名)

※1 常勤職員は産休・育休・病休者を含む

※2 会計年度任用職員は※1の代替職員を除く

※3 保健医療総務室長（所属：健康まちづくり室）を含む

第7 事務分掌

1 保健医療総務室

- (1) 医事及び薬事に関する事項
- (2) 保健衛生に係る調査及び統計に関する事項
- (3) 保健医療団体との連絡に関する事項（他の課等の所管するものを除く。）
- (4) 地域医療に係る施策の企画、調整及び推進に関する事項
- (5) 健康危機管理に関する事項
- (6) 保健師の保健活動の総合調整及び推進に関する事項
- (7) 保健所運営協議会に関する事項
- (8) 医療審議会に関する事項
- (9) 保健所庁舎の管理に関する事項
- (10) 保健所内の総合調整及び庶務に関する事項

2 衛生管理課

- (1) 食品衛生に関する事項
- (2) 環境衛生に関する事項
- (3) 狂犬病の予防に関する事項
- (4) 動物の愛護及び管理に関する事項（他の課等の所管するものを除く。）
- (5) 衛生上の試験及び検査に関する事項
- (6) 専用水道及び簡易専用水道に関する事項
- (7) 飲用井戸等に係る指導に関する事項

3 地域保健課

- (1) 感染症の対策及び予防に関する事項
- (2) 予防接種に関する事項
- (3) 精神保健に関する事項（他の課等の所管するものを除く。）
- (4) 自殺対策に関する事項
- (5) 難病の支援に関する事項
- (6) 難病及び肝炎治療の医療費助成に関する事項

(7) 感染症診査協議会に関する事項

(8) 予防接種健康被害調査委員会に関する事項

第8 活動の指標（市内3か年比較）

各年12月末日現在

項 目				令和 3 年 (2021 年)	令和 4 年 (2022 年)	令和 5 年 (2023 年)
面 積 (km ²)				36	36	36
人 口 (人)		男		181,081	182,078	182,436
		女		197,788	199,238	200,245
		計		378,869	381,316	382,681
世 帯 数				178,690	181,823	184,283
人 口 密 度 (人／km ²)				10,524	10,592	10,630
医 療 施 設	病 院	一般病院		14	14	14
		結核療養所		0	0	0
		精神科病院		1	1	1
	診 療 所	一 般	数	361	371	375
			1 施設当り人口	1,049	1,028	1,020
		歯 科	数	204	210	212
			1 施設当り人口	1,857	1,816	1,805
人 口 動 態	出 生		実 数	2,952	2,958	2,947
			人口千対	7.8	7.8	7.7
			合計特殊出生率	1.29	1.30	1.28
	死 亡		実 数	3,221	3,534	3,551
			人口千対	8.5	9.3	9.3
	乳児死亡 (再掲)		実 数	4	8	6
			出生千対	1.4	2.7	2
	自然増加		実 数	▲ 269	▲ 576	▲ 604
			人口千対	▲ 0.7	▲ 1.5	▲ 1.6
	死 産		実 数	58	43	51
			出産千対	19.3	14.3	17
	死 産 (自然のみ)		実 数	33	23	30
			出産千対	11	7.7	10
	婚 姻		実 数	1,602	1,755	1,743
			人口千対	4.2	4.6	4.6
	離 婚		実 数	482	460	488
			人口千対	1.3	1.2	1.3

	主 要 死 因 別 状 況	悪 性 新生物	実 数	883	962	986
			人口 10 万対	233.1	252.3	257.7
		心疾 患	実 数	490	521	495
			人口 10 万対	129.3	136.6	129.4
		肺 炎	実 数	162	133	137
			人口 10 万対	42.8	34.9	35.8
		脳血管 疾 患	実 数	149	168	185
			人口 10 万対	39.3	44.1	48.3
		不慮の 事 故	実 数	76	91	98
			人口 10 万対	20.1	23.9	25.6
		自 殺	実 数	57	59	55
			人口 10 万対	15	15.5	14.4
		肝疾 患	実 数	33	49	33
			人口 10 万対	8.7	12.9	8.6

- (注) 1)面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(令和3年(2021 年)1月1日現在の面積(国土地理院))による。
- 2)人口、世帯数は、吹田市住民基本台帳人口による。
- 3)医療施設数は、保健所に開設の届出のある病院及び診療所数。
- 4)人口動態は、各年の人口動態総覧、保健所・市町村別(大阪府主要健康福祉データ)による。
- 5)合計特殊出生率は出生数・母の年齢(5 歳階級)・市町村別(大阪府人口動態調査)及び年齢・性別人口(総務室)により算出。

第9 事務事業執行概要

保健医療総務室事務概要

保健所内の総合調整、庁舎の維持管理をはじめ、管内の医療施設、施術所、薬局等に対する申請・届出・許認可や監査指導、各種医事免許の受付等の業務を実施。また、吹田市保健所運営協議会、豊能薬事懇話会、豊能地域救急メディカルコントロール協議会の運営や、地域医療推進懇談会等の地域医療推進事業を行っている。

また、高齢社会の進展や疾病構造の変化に伴って複雑多様化する市民の医療ニーズに適切に対応するため、大阪府医療計画、大阪府地域医療構想等に基づき、地域における保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、医療提供体制の整備や総合的な保健医療サービスの提供に努めるなど、広域的かつ専門的活動を実践している。

さらに、地域における健康危機管理の拠点として、特に災害や感染症危機に備え、平時から吹田市三師会や医療機関等との会議や訓練の企画・実施、各種調整等を通じた連携強化を行うとともに、保健所における対応マニュアルの整備等、有事に備えた体制整備を行っている。

1 医事関係事務(根拠法令 医療法、歯科技工士法、保健師助産師看護師法等)

(1)市内の医事関係施設数(令和8年(2026年)4月1日現在)

①病院施設数及び病床数

施設数(カ所)			病床数(床)					
15	一般	精神	4,565	精神	感染症	結核	療養	一般
	14	1		394	0	0	260	3,911

②診療所施設数及び病床数

一般診療所						歯科診療所			
施設数(カ所)			病床数(床)			施設数(カ所)			病床数(床)
398	無床	有床	49	療養	療養以外	209	無床	有床	0
	395	3		0	49		209	0	

③助産所

施設数(カ所)			病床数(床)
26	無床	有床	4
	24	2	

④施術所

施設数(カ所)			
あはき	あはき(出張)	あはき(滞在)	柔整
312	149	0	185

⑤歯科技工所

施設数(カ所)
49

⑥薬局

施設数(カ所)
180

⑦衛生検査所

施設数(カ所)
2

(2)医療機関や施術所等の開設許可や開設届出受理事務等の取扱状況

医療法等の各法令の規定に基づき、病院、診療所等の各種届出受付、許可等の事務を行っている。

令和7年度(2025年度)は主に病院関係66件、診療所関係174件、施術所関係144件の届出等の受付事務や許可等を行った。

項目 施設 区分	令和6年 度統計	令和7年 度統計	開設届	開 設 許 可 申 請 ※	変 更 許 可申請	変更届	構 造 設 備 使 用 許 可 申 請	廃止届 休 止・再 開届
病院	56	66	0	0	39	4	23	0
診療所	181	174	42	22	10	63	0	37
助産所	6	4	1	0	0	2	0	1
歯科技工所	9	13	1	0	0	9	0	3
施術所 (あはき)	90	81	10	0	0	60	0	11
施術所 (あはき出張)	12	12	3	0	0	0	0	9
施術所 (あはき滞在)	0	0	0	0	0	0	0	0
施術所 (柔整)	58	51	9	0	0	29	0	13
合計	412	401	66	22	49	167	23	74
収入済額	1,457,000							

※は手数料を要するもの

(3) 医事免許関係取扱件数

中核市移行に伴い、医師、歯科医師、保健師等の医療従事者免許に係る各種申請、届出等の受付処理事務を、大阪府との委託契約により実施している。

令和7年度(2025年度)は971件の申請・届出等の受付、処理を行った。

区分	令和6年度集計	令和7年度集計	免許申請	訂正	書換交付	再交付	籍抹消	返納
総数	996	971	560	365	363	33	13	0
医師法	79	61	33	15	15	6	7	0
歯科医師法	24	25	11	9	9	1	4	0
薬剤師法	90	101	47	47	47	5	2	0
保健師助産師 看護師法	664	661	399	246	244	16	0	0
診療放射線技 師法	16	15	9	6	6	0	0	
臨床検査技師 等に関する法律	26	28	12	13	13	3	0	0
理学療法士及 び作業療法士 法	90	72	45	25	25	2	0	
視機能訓練士 法	6	5	1	4	4	0	0	0
母体保護法 (受胎調節実施 指導員指定証)	0	2	2	0	0	0	0	0
死体解剖保存 法 (認定医)	1	1	1			0		0

※薬剤師以外は、訂正と書換交付は1枚の申請書のため、合計数とは一致しません。

※令和5年度版事務概要の数値に誤りがあったため、訂正しています。

2 薬事関係事務(根拠法令 医薬品医療機器等法、毒物劇物取締法、臨床検査技師等に関する法律等)

医薬品医療機器等法等の各法令の規定に基づき、薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者、毒物劇物販売業者及び衛生検査所の各種届出受付、許可等の事務を行っている。

(1) 事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分		手 数 料 (円)	令 和 5 年 度 (2023 年 度) 処 理 数	令 和 6 年 度 (2024 年 度) 処 理 数	令 和 7 年 度 (2025 年 度) 処 理 数
薬局	許可申請	29,000	12	12	10
	更新申請	11,000	31	22	20
	書換交付	2,000	2	1	0
	再 交 付	2,900	0	0	1
薬局製造販売医薬品 製造業	許可申請	11,000	1	0	0
	更新申請	5,600	5	2	3
	書換交付	2,000	0	0	0
	再 交 付	2,900	0	0	0
薬局製造販売医薬品 製造販売業	許可申請	6,300	1	0	0
	更新申請	4,000	5	2	3
	書換交付	2,000	0	0	0
	再 交 付	2,900	0	0	0
薬局製造販売医薬品製造販売承認申請		37,800	0	0	0
店舗販売業	許可申請	29,000	3	7	3
	更新申請	11,000	15	6	2
	書換交付	2,000	0	0	1
	再 交 付	2,900	0	0	0
高度管理医療機器等 販売業・貸与業	許可申請	29,000	24	27	24
	更新申請	11,000	29	30	27
	書換交付	2,000	2	1	4
	再 交 付	2,900	0	0	0
毒物劇物販売業	登録申請	14,700	10	9	11
	更新申請	6,400	42	28	20
	書換交付	2,400	2	1	2
	再 交 付	4,000	0	0	0
衛生検査所	登 録	80,000	1	0	0
	登録変更	61,000	0	1	0
	書換交付	8,200	0	1	0
	再 交 付	8,200	0	0	0
合 計			185	150	131
収入済額			2,567,430	2,378,300	1, 948, 200

※令和6年度版事務概要の数値に誤りがあったため、訂正しています。

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和 5 年度 (2023 年度) 処 理 数	令和 6 年度 (2024 年度) 処 理 数	令和 7 年度 (2025 年度) 処 理 数
薬 局 関 係	554	737	605
店 舗 販 売 業 関 係	171	225	185
高 度 管 理 医 療 機 器 等 関 係	205	159	186
管 理 医 療 機 器 関 係	117	45	66
毒 物 劇 物 販 売 業 関 係	42	18	28
毒 物 劇 物 業 務 上 取 扱 者 関 係	0	0	0
衛 生 検 査 所 関 係	4	5	2
合 計	1093	1189	1072

3 医療相談

市民に身近な地域において医療に関する相談や苦情に対応するため、医療相談窓口を整備し、医療の安全と信頼を高め、管内の医療機関における患者サービス及び医療の質の向上に資するために相談事業を実施した。

相談・苦情受付件数(延数)

	計	電話	文書	来所	メール
令和5年度 (2023 年度)	407	286	0	12	109
令和6年度 (2024 年度)	321	292	0	9	20
令和7年度 (2025 年度)	380	316	2	13	49

4 医療機関の立入検査及び実地指導等

(1)病院・診療所立入検査(根拠法令 医療法)

市内の病院に対し、医療の安全等に係る年1回の定期立入検査を実施し、助言や指導を行っている。また、市内の有床診療所や人工透析を行っている診療所に対し、3年に1回の定期立入検査を実施。さらに、市内の無床診療所や歯科診療所等に対して、新規開設時に現地調査を行っている。

ア 病院立入件数(定期)

実施時期 令和 7 年(2025 年)8月～令和 8 年(2026 年)1月
 実施病院数 15 病院

イ 診療所立入件数(定期)

実施時期 令和8年(2026年)1月～2月

実施病院数 3診療所

ウ 診療所立入件数(新規開設)

実施時期 新規開設時(移転開設時を含む)

実施診療所数 50診療所

(2)精神科病院実地指導

精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律第38条の6及び第38条の7に基づく実地指導を実施した。

実施時期 令和7年(2025年)11月～12月

実施病院数 2病院

(3)厚生労働省医政局医事課長通知に基づき、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師の業及び施術所の広告に関する指導を行った。

施術所数 497施設(令和7年(2025年)3月31日現在)

広告の指導実施数 6件

5 薬事関係立入検査

薬局、店舗販売業者、高度管理医療機器等販売業者及び毒物劇物販売業者等に係る医薬品医療機器等法、毒物及び劇物取締法及びそれら関係法令の遵守の確認のため、立入検査を実施した。

また、衛生検査所に対し、臨床検査技師等に関する法律の遵守の確認のため立入検査を実施した。

業 種		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
		施設数	立入検査数	施設数	立入検査数	施設数	立入検査数
薬 局 等 医薬品販売業	薬 局	174	44	179	54	179	88
	薬局製造販売医薬品 製造・製造販売業	24	9	24	16	23	13
	店 舗 販 売 業	61	32	62	30	62	31
	小 計	259	85	265	100	264	132
医 療 機 器 販売業・貸与業	高度管理医療機器等 販売業・貸与業	317	61	320	68	318	101
	管 理 医 療 機 器 販売業・貸与業	478	3	502	2	521	3
	小 計	795	64	822	70	839	104

毒物劇物 販売業	一般販売業	199	29	198	90	192	20
	農業用品目販売業	4	1	4	3	4	0
	特定品目販売業	0	0	0	0	1	1
	小計	203	30	202	93	197	21
衛生検査所		4	1	4	2	2	1
合計		1261	180	1293	265	1302	258

※令和5年度版事務概要の数値に誤りがあったため、訂正しています。

6 薬事関連啓発事業

(1) 薬と健康の週間に関する啓発

薬と健康の週間(10月17日～10月23日)に向け、市報(7月号)に大阪府薬剤師会主催の小・中学生向けポスター原画と社会人向け川柳の募集案内を掲載し、同週間の期間中、保健所内、阪急電鉄駅構内(市内7駅)において、ポスター掲示とチラシ配架及びすいたん X、市役所のデジタルサイネージによる啓発を行った。また、10月19日に「府民のつどい」を開催し、薬の適正使用に関する啓発活動を実施した。

(2) 薬物乱用防止に関する啓発

- ア 6月(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)及び10月(麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動月間)に市報に薬物乱用防止等の啓発記事を掲載した。
- イ 6月(「ダメ。ゼッタイ。」普及運動)に市役所のデジタルサイネージに啓発記事を掲載及び阪急電鉄駅構内(市内7駅)において、ポスター掲示による啓発を行った。
- ウ 10月(麻薬・覚醒剤・大麻乱用防止運動月間)に市内対象の小学6年生、中学3年生へ薬物乱用防止啓発リーフレットを配布した。
- エ 薬物乱用防止に関する資料等を作成し、小学校、中学校において実施される薬物乱用防止教室の講師に提供することで開催を支援した。
- オ 関西大学による薬物乱用防止啓発活動(6月23日～6月27日、12月1日～5日)に対し、啓発パネル、啓発チラシ・グッズ、啓発DVD等の薬物乱用防止啓発資料の提供を行った。

(3) 出前講座

- ア 5月9日に竹見台市民ホールで行われた、竹見台団地3丁目交流イベントにおいて、地域住民30人に対して、「薬の正しい使い方」に関する講演を実施した。
- イ 6月12日にアゼリアハウスで行われた、つながろう月が丘の会において、地域住民8人に対して、「薬の正しい使い方」に関する講演を実施した。
- ウ 7月17日に市民公益活動センター(ラコルタ)で行われた、心ふれあいSA吹田福祉部会において、地域住民22人に対して、「薬の正しい使い方」及び薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」に関する講演を実施した。

7 その他薬事関連事業

(1) 薬事講習会

薬局関連の事例共有と、薬局等事業者の法律・施策に関する理解の向上を図るため、吹田市内の薬局及び店舗販売業を対象に実施した。

開催時期	参加人数	主な内容
令和8年(2026年) 2月19日 (現地及びオンライン開催)	63人	・行政による立入検査と指導事例について ・薬機法改正について ・生きづらさを抱える人に今日から地域の薬剤師ができること

(2) 解毒剤等医薬品・医療機器の備蓄調査

保健所における危機管理業務の一環として毒物劇物等の事故やNBC災害等の発生時に迅速な対応が行えるよう、市内の病院等を対象に解毒剤等医薬品・医療機器の備蓄調査を大阪府茨木保健所生活衛生室薬事課と実施した。その結果及び連絡体制を関係機関(病院、警察、消防、医師会、薬剤師会、保健所)と共有した。

8 保健所運営協議会(根拠法令 地域保健法)

(1) 概要

市内の地域保健及び保健所運営に関する事項について審議する。

(2) 開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和7年(2025年) 6月25日(水)	8人	(1)吹田市保健所の運営について (2)その他
令和7年(2025年) 10月3日(金)	7人	(1)吹田市新型インフルエンザ等対策行動計画の改定について (2)その他

(3) 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
岡村 俊子	一般社団法人吹田市薬剤師会 会長	
岡本 吉宏	一般社団法人吹田市歯科医師会 会長	
加賀城 恵美子	吹田市社会福祉協議会 副会長	
川崎 良	大阪大学大学院医学系研究科 社会医学講座 公衆衛生学 教授	
杉本 良一	吹田公衆衛生協力会 会長	
寺坂 真樹	大阪府吹田警察署 署長	
土井 有羽子	千里金蘭大学(看護学部)教授	副会長
信井 千秋	大阪府助産師会吹田班 班長	
古川 國久	吹田商工会議所 副会頭	
三木 秀治	一般社団法人吹田市歯科医師会 会長	
御前 治	一般社団法人吹田市医師会 会長	会長
三谷 一裕	吹田市健康づくり推進事業団 理事長	

9 大阪府医療計画推進に係る会議

(1) 豊能保健医療協議会(事務局 大阪府池田保健所)

「地域医療構想」の取組と進捗状況、豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性、紹介受診重点医療機関の選定、地域医療への協力に関する意向書等の提出状況、第8次大阪府医療計画における取組状況の評価、基準病床数について協議を行った。

なお、豊能 二次医療圏医療・病床懇話会は、令和6年度から休会。

(2) 豊能圏域病院連絡会

ア 概要

将来の医療需要に見合ったあるべき医療提供体制の構築に向け、医療機能の分化・連携を推進するため、管内全ての病院が一同に集まり各病院の今後の方向性について協議を行った。豊能二次医療圏の病床機能報告対象病院(吹田市内は14病院)を対象に実施した。

イ 開催状況

開催年月日	出席病院	会 議 内 容
令和5年(2023年) 12月12日	43病院中41病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和5年度豊能二次医療圏における「地域医療構想」の進捗状況 ・令和5年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性 ・新興感染症にかかる協定締結の状況について

令和6年(2024年) 12月13日	42病院中39病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和6年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和6年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性
令和7年(2025年) 12月10日	42病院中38病院 (吹田市内の病院 は全て出席)	・令和7年度「地域医療構想」の取組と進捗状況 ・令和7年度豊能二次医療圏における各病院の今後の方向性 ・病院からの説明 ・グループ別協議

(3) 豊能薬事懇話会

ア 概要

大阪府医療計画に基づき、豊能二次医療圏内における薬事衛生の推進・向上を図ることを目的として、地域医療の一端を担っている薬局のあり方をめぐる議論や、医療機関・地域と薬局の連携情報交換のため開催した。

イ 開催状況

開催年月日	出席 委員	会 議 内 容
令和6年(2024年) 1月25日	12人	(1) 第8次大阪府医療計画(府域版)案の概要について (2) 認定薬局の推移 (1) 災害時救急医薬品の確保について
令和7年(2025年) 1月20日	13人	(1) 災害時の医薬品等の確保体制の整備状況について (2) (2) 地域連携薬局に対するアンケート調査について
令和8年(2026年) 1月19日	13人	(1) 災害時薬事体制に関する取組状況等について (2) 専門医療機関連携薬局(がん)について

ウ 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
今西 恵施	一般社団法人 箕面市薬剤師会 会長	会長
新居延 高宏	一般社団法人 吹田市医師会 副会長	
大前 泰三	一般社団法人 箕面市歯科医師会 副会長	
多田 耕三	一般社団法人 豊中市薬剤師会 会長	
中村 圭子	一般社団法人 池田市薬剤師会 会長	
岡村 俊子	一般社団法人 吹田市薬剤師会 会長	
宇佐美 順子	市立豊中病院 薬剤部 部長	

岡村 武	一般社団法人 大阪府薬剤師会 理事	
松浪 桂	豊中市健康医療部 部長 兼 保健所 所長	
衛門 昭彦	池田市子ども・健康部 部長	
岡松 道哉	吹田市健康医療部 部長	
岡本 秀	箕面市健康福祉部 部長	
小森 進	豊能町生活福祉部 部長	
寺内 啓二	能勢町福祉部 部長	

(3) 豊能地域救急メディカルコントロール協議会

ア 概要

豊能圏域における救急搬送体制及び救急医療体制の向上に資するため、消防機関と医療機関が一体となったメディカルコントロール体制と救急医療機関の受入体制の充実を図ることを目的に開催した。

イ 開催状況

年度	開催年月日	出席 委員	会 議 内 容
令和5年度 (2023 年度)	令和5年(2023 年) 8 月 23 日 (オンライン開催)	13 人	・教育小委員会からの報告 ・検証小委員会からの報告
	令和6年(2024 年) 1 月 15 日 (オンライン開催)	18 人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け) 令和6年(2024 年)1月(豊能圏域版)について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について ・実施基準検証について ・第8次大阪府医療計画(素案)報告 ・検証小委員会からの報告
令和6年度 (2024 年度)	令和6年(2024 年) 7 月 1 日 (オンライン開催)	15 人	・検証小委員会からの報告について ・教育小委員会からの報告について ・救急患者連携搬送料の新設に伴う対応について
	令和7年(2025 年) 1 月 15 日(オンライン開催)	17 人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け) 令和7年(2025 年)1月(豊能圏域版)について ・実施基準検証について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について

令和7年度 (2025年度)	令和7年(2025年)6月30日 (オンライン開催)	16人	・大阪府豊能地域救急メディカルコントロール協議会の委員について ・検証小委員会からの報告 ・教育小委員会からの報告 ・豊能圏域における吐下血の圏域外搬送の状況 ・豊能地域救急MC協議会への救急患者連携搬送料に関する施設基準にかかる協議について ・アナフィラキシーに対するアドレナリン(エピネフリン)自己注射製剤の投与対象拡大に関する実証事業の進捗について
	令和7年(2025年)12月16日(オンライン開催)	18人	・傷病者の搬送及び受入れの実施基準 医療機関リスト(消防機関向け) 令和7年(2025年)12月(豊能圏域版)について ・実施基準検証について ・大阪府救急搬送支援・情報収集分析システム(ORION)を用いた救急搬送指標について

ウ 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏 名	所 属	備 考
織田 順	大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター長 教授	会長
辻 毅嗣	一般社団法人 豊中市医師会 会長	副会長
長嶺 秀則	吹田市消防本部 警防救急室 参事	副会長
酒井 智彦	大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 助教	
田原 良雄	国立循環器病研究センター 救急部 特任部長	
林 靖之	大阪府済生会千里病院 広域調整部長	
平山 博	大阪府済生会吹田病院 救急科 科長	
小林 武弥	市立吹田市民病院 救急科部長	
丸川 征四郎	吹田徳洲会病院 顧問	
中川 理	市立豊中病院 副院長	
渡邊 太郎	関西メディカル病院 理事長	
谷口 理章	大阪脳神経外科病院 院長	
尾下 正秀	市立池田病院 病院長	
巽 孝彦	巽病院 院長	
大河内 謙太郎	箕面市立病院 救急科主任部長	
北村 良夫	一般社団法人 大阪府医師会 理事	
辻井 健一	一般社団法人 吹田市医師会 副会長	
横山 英生	池田市消防本部 警防救急課長	
八木 隆太	豊中市消防局 救急救命課長	
滝元 直樹	箕面市消防本部 消防企画室長	

10 吹田市衛生検査所精度管理専門委員連絡会議

ア 概要

衛生検査所指導要領に基づき実施する衛生検査所精度管理の的確な運営を図り、適切な衛生検査所の指導監督体制を確立するため、衛生検査所精度管理専門委員を設置し、委員間において衛生検査所における検査精度の向上のための方策等を検討している。

イ 開催状況

開催年月日	出席委員	会議内容
令和7年(2025年) 9月1日	4人	(1) 令和7年度衛生検査所立入検査(精度管理事業を含む)について (2) 令和7年度衛生検査所立入検査日程調整について
令和8年(2026年) 3月3日 (関係自治体合同開催)	3人	(1) 衛生検査所精度管理事業について (2) 令和7年度衛生検査所持ち込み検体検査の結果について

ウ 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏名	所属	備考
前田 哲生	地方独立行政法人 市立吹田市民病院	委員長
井口 健	学校法人 大阪医科薬科大学	
小椋 聖子	学校法人 関西医療学園 関西医療大学	
梶 勝史	社会福祉法人 真美会 大阪旭こども病院	

11 吹田市医療審議会

(1)概要

吹田市の施策として実施する一次救急医療、在宅医療、災害時医療等の医療関係諸問題等についての重要事項を調査審議する附属機関として設置している。諮問すべき事項が発生した場合には速やかに開催することとし、令和5年度(2023年度)から休会としている。

(2)委員名簿

令和5年(2023年度)11月15日の委員任期満了後、新たな委員委嘱は行っていない。

12 吹田市地域医療推進懇談会

(1) 概要

今後、一層の進展が見込まれる高齢化に対し、大幅に増大する在宅医療等の医療需要に見合った必要な在宅医療の環境づくりの推進や、かかりつけ医等の定着促進等、地域医療の推進を目的に、医療提供者主体における検討を行っている。

(2) 開催状況

年度	開催年月日	出席 委員	会 議 内 容
令和5年度 (2023年度)	令和5年 (2023年) 10月19日 (オンライン開催)	10人	・今年度の進め方について ・在宅医療を支える病院等との医療連携のあり方について ・訪問看護の提供体制等の充実について ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組について
	令和6年 (2024年) 3月13日 (オンライン開催)	10人	・在宅医療を支える病院等との医療連携のあり方について ・令和5年度医療に関する市民アンケート調査結果報告 ・令和5年度吹田市地域医療推進市民講演会開催報告
令和6年度 (2024年度)	令和7年 (2025年) 1月29日	9人	・令和6年度の取組について ・在宅医療を支える連携体制のあり方に関する検討について ・令和6年度 吹田市地域医療推進市民シンポジウム開催報告 ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組について
	令和7年 (2025年) 3月26日	8人	・在宅医療を支える連携体制のあり方に関する検討について ・令和7年度吹田市 在宅医療を担う医師の交流会(案)について ・令和7年度医療介護関係者向け人生会議(ACP)研修会(案)について
令和7年度 (2025年度)	令和7年 (2025年) 8月6日	10人	・令和7年度の取組について ・吹田市空床状況確認システム について ・在宅療養患者の急変時に活用できる病院機能について ・吹田市在宅医交流会について ・吹田市在宅医療・介護連携推進協議会における取組について
	令和8年 (2026年) 1月14日	8人	・吹田市空床状況確認システムについて ・吹田市在宅医交流会の実施報告について ・在宅医療に関する実態調査の報告について ・令和7年度 吹田市地域医療推進市民講演会の実施報告について ・令和7年度 医療介護関係者向け人生会議(ACP)研修会について

(3) 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏 名	所 属	備考
丸山 純子	一般社団法人吹田市医師会 理事	委員長
山村 憲幸	一般社団法人吹田市医師会 理事	
中埜 秀史	一般社団法人吹田市歯科医師会 副会長	
濱野 昌子	一般社団法人吹田市薬剤師会 副会長	
和田 陽子	済生会吹田病院 地域医療支援部部長	
吉川 正秀	市立吹田市民病院 事務局長	
千代松 亜季	大和病院 事務長	
井上 慶子	めぐみクリニック 院長	
鈴木 奈穂	協和会病院 看護次長	
石黒 裕子	吹田市介護保険事業者連絡会 訪問看護事業者部会 部会員	
竹屋 泰	大阪大学 大学院医学系研究科 教授	副委員長

13 吹田市医療に関する市民アンケート調査

(1) 概要

かかりつけ医や在宅医療等についての市民意識や医療に対するニーズ等を把握し、今後の地域医療の向上に活かすことを目的として、3年に1回実施している。

(2) 実施状況(調査結果)

	平成 28 年度 (2016 年度)	令和2年度 (2020 年度)	令和5年度 (2023 年度)
かかりつけ医がいる割合(%)	55.3	57.0	60.5

14 吹田市地域医療推進市民講演会

(1) 概要

市民に医療機関の役割分担や在宅療養という選択肢があること等、地域医療への理解を高めていただくことを目的とし、「かかりつけ医等の定着促進・在宅療養・看取り」の主に3つのテーマについて、シンポジウムや講演会を開催している。

(2) 開催状況

開催年月日	参加人数	主な内容
令和6年 (2024 年) 2月 28 日	192 人	テーマ「上手な医療のかかり方～知ってトクする医療の話～」 ・医師による講演 ・医療に関する市民アンケート調査結果概要について ・人生会議について

令和6年 (2024 年) 10 月 19 日	136 人	テーマ「まるっとわかる在宅医療」プロに聞くホントのトコロ ・医師による基調講演、医師・看護師・ケアマネジャー・病院関係者によるパネルディスカッション ・在宅医療に関する市民意識について
令和 7 年 (2025 年) 11 月 8 日	130 人	テーマ「あなたらしく生きる～最期まで安心して暮らし続けるために～」 ・医師、看護師による看取りに関する講演 ・市民体験談

15 豊能二次医療圏救急医療対策事業

豊能圏域に属する吹田市、豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町の4市2町が休日・夜間における入院治療を必要とする重症患者を受け入れる医療機関に対し、その運営費の一部を補助し、地域における救急傷病者への医療体制の整備を図るもの。

【決算額】

項目	令和5年度(2023 年度)	令和6年度(2024 年度)	令和7年度(2025 年度)
決算額(円)	14,961,378	14,950,853	15,150,539
救急患者受入数(延べ)	9,343	9,525	9,362

16 地域のネットワーク会議等

管内の健康づくり等を行うため、関係機関等主催の各種会議に参画し、具体的な方策の検討等を行った。

会議名	保健 所 参加回 数	参加機関等	事務局	内 容
吹田市学校保健会 理事会	4回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、教育委員会、小・中学校、教育センター、母子保健課、保健所	吹田市教育委員会 学校教育 部保健給 食室	吹田市における学校保健の振興を図り、学校教育の円滑な実施について協議する。

17 健康危機管理に対する取組

(1) 吹田市医療機関等感染対策事業

院内や施設内感染の未然防止、早期解決、感染対策の向上及び感染対策のネットワークの構築を目的に、以下の取組を実施。

ア 吹田市院内感染対策合同カンファレンス

管内医療機関の感染対策の維持向上とネットワーク構築を目的として、平成 23 年から吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議を開催してきたが、感染対策向上加算1取得病院が行う感染対策向上加算合同カンファレンスと目的や内容等が重複することから、会議のあり方について管内医療機関と検討を重ねてきた。

令和7年3月から、両会議を統合し会議の主催や構成等の見直しを行ったうえで、主に院内感染について情報共有、意見交換、新興感染症訓練等を行う吹田市院内感染対策合同カンファレンスを新たに設置した。

	年度	開催年月日	参加機関等	主な内容
院内感染対策連絡会議	令和5年度 (2023 年度)	令和5年(2023 年) 7月14日 (オンライン開催)	- 管内15病院 感染対策担当者 - 吹田市消防本部 - 大阪健康安全基盤研究所	- 講義:今夏に注意すべき輸入感染症について - 意見交換:新型コロナウイルス感染症 5類移行後の状況について
		令和5年(2023 年) 12月18日 (オンライン開催)		- 報告及び意見交換:薬剤耐性菌対策について - 多剤耐性緑膿菌(MDRP)や VRE アウトブレイク対応について
	令和6年度 (2024 年度)	令和6年(2024 年) 11月8日 (オンライン開催)		- 吹田市保健所管内院内感染対策連絡会議の見直しについて - 侵襲性髄膜炎菌感染症について
合同カンファレンス		令和7年(2025 年) 3月4日 (オンライン開催)	- 管内15病院 感染対策担当者 - 吹田市医師会	- 吹田市における院内感染対策について - 講義:国際的大規模イベントと感染症対策について - 大阪・関西万博に伴う感染症強化サーベランス等について
	令和7年度 (2025 年度)	令和7年(2025 年) 7月24日 (オンライン開催)		- 吹田市内感染症発生動向、院内感染対策の状況等について - 大阪府内の感染症の発生状況について - 管内医療機関から感染対策について - 発生届のデジタル化に向けた取組について
		令和7年(2025 年) 11月13日 (オンライン開催)		- 吹田市内感染症発生動向、院内感染対策の状況等について - 管内医療機関から感染対策について - 医療機関における面会等について

イ 院内感染対策に係る支援チームの派遣

管内医療機関や高齢者施設等で発生したクラスターに対して、管内医療機関の感染対策の専門家(感染制御医師(ICD)・感染管理認定看護師(ICN)等)、保健所職員で構成する支援チームを派遣し、施設内ラウンド、感染対策の助言、研修を実施した。

ウ 高齢者施設等感染対策支援検討会

高齢者施設等における感染対策や集団感染発生時の対応力の向上と、管内高齢者施設等の中心的役割を担う施設(核となる施設)を中心とした施設支援と施設間連携によるネットワークの構築について検討するため、令和7年3月から高齢者施設等感染対策支援検討会を設置した。

年度	開催年月日	参加機関等	主な内容
令和6年度 (2024年度)	令和6年(2024年) 10月23日	・感染対策向上加算 1取得病院、 ・特別養護老人ホーム代表5施設	・高齢者施設等への感染対策支援のあり方について ・核となる施設の役割について ・高齢者施設等感染対策リーダー育成研修について
	令和7年(2025年) 3月25日		
令和7年度 (2025年度)	令和7年(2025年) 7月7日	・感染対策向上加算 1取得病院、 ・特別養護老人ホーム代表5施設	・高齢者施設等への感染対策支援について ・核となる施設の役割について ・高齢者施設等感染対策リーダー育成研修について ・高齢者施設内ラウンドについて
	令和8年(2026年) 3月27日		

エ 高齢者施設等への感染対策リーダー育成研修

高齢者入所施設や高齢・障がい福祉サービス事業者等を対象に、管内病院のICNを講師とした、感染対策についての研修を実施した。

年度	開催年月日	対 象	主な内容
令和5年度 (2022年度)	令和5年(2023年) 11月14日	・管内高齢者施設等の管理者及び感染対策担当者	・5類移行後における継続的な感染対策のあり方に関する講義とグループワーク
	令和6年(2024年) 1月22日		・各施設内で行う研修や訓練のあり方に関する講義とグループワーク
令和6年度 (2024年度)	令和7年(2025年) 2月5日		・吹田市保健所が行う高齢者施設等への感染策支援についての報告 ・感染対策に関するマネジメントについての講義 ・感染対策について意見交換
令和7年度 (2025年度)	令和7年(2025年) 10月2日		標準予防策や感染対策に配慮したケアの実践(ゾーニング・PPE着脱、嘔吐物処理、おむつ交換・パルーン尿破棄)
	令和8年(2026年) 3月10日		施設における感染対策マネジメントに関する講義とグループワーク

(2) 感染症健康危機管理体制の整備

ア 吹田市新型インフルエンザ等合同訓練

新型インフルエンザ等が疑われる患者が発生した場合を想定した患者への対応、院内の感染拡大防止策、患者搬送、病院と保健所の連携体制等について訓練を実施した。

開催時期	参加病院	主な内容
令和6年(2024年) 3月 (動画配信)	-	新興感染症疑い患者発生を想定した訓練動画を作成。管内診療所に疑似症と思われる患者が来院した想定での各関係機関の連携や対応のフローを動画化。外来感染対策向上加算に関するカンファレンスにて管内医療機関に共有。大阪大学 CiDER(大阪大学感染症総合教育研究拠点)人材育成部門の YouTube チャンネルにて動画配信を実施。
令和7年(2025年) 2月 (ハイブリット開催)	131	外来感染対策向上加算に関するカンファレンスにて、感染対策向上加算 1 取得病院の感染管理認定看護師より个人防护服の選択の講義、PPE 着脱訓練及び N95 マスクのフィットテストを実施。
令和8年(2026年) 2月 (ハイブリット開催)	130	外来感染対策向上加算に関するカンファレンスにて、感染対策向上加算 1 取得病院の感染管理認定看護師と吹田市保健所より麻しんの基礎知識として講義と机上訓練を実施。

イ 北ブロック健康危機管理対応訓練(事務局:豊中市保健所)

次の感染症危機に備え、保健所が法に基づき、患者への対応及び感染症医療機関への入院調整や患者移送等を迅速かつ適切に実施し、病院と保健所間の連携体制、院内感染対策の強化・充実を図ることを目的に病院と合同で訓練を実施した。

開催年月日	参加機関等	主な内容
令和6年 (2024年) 11月21日	・市立豊中病院 ・豊中市保健所 ・大阪府池田保健所 ・大阪府茨木保健所 ・高槻市保健所 ・枚方市保健所	吹田市保健所にて実演 ・患者把握から市立豊中病院までの患者移送に係る動き(動画作成) ・患者を自宅から病院まで移送(実演) ・防護服の脱衣・車椅子型アイソレータの消毒(実演)

	・大阪府	
令和7年 (2025年) 10月22日	・市立豊中病院 ・豊中市保健所 ・大阪府池田保健所 ・大阪府茨木保健所 ・高槻市保健所 ・枚方市保健所 ・大阪府	第1部 机上訓練（箕面市立病院にて） ・救急搬送(想定)及び府搬送車による2パターンの患者移送を実施 第2部 移送訓練（市立豊中病院にて） ・市立豊中病院への患者搬送 ・病院スタッフへの患者情報の引継ぎ ・患者を病院内病室まで移動し、ベッドへの移乗 ・防護服脱衣、アイソレーター及び搬送車両の消毒 等

ウ 新型インフルエンザ等対策業務継続計画・行動計画の改定

新型インフルエンザ等が発生した場合において、新型インフルエンザ等対策を確実に実施し、市民への感染拡大を可能な限り抑制するとともに、職員や家族の感染等により人員体制が制約を受けた場合でも、市民生活及び地域経済の安定に不可欠な市役所機能を維持するため、新型インフルエンザ等対策業務継続計画を、令和7年6月に改定した。

さらに、国、大阪府における行動計画を踏まえ、新型インフルエンザ等の発生に備えた平時の準備や、感染症発生時の対策の内容を示した行動計画を、令和8年2月に改定した。

(3) 災害時健康危機管理体制の整備

ア 豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修

大規模地震等発生時において大阪府が被災地となった際に、大阪府地域防災計画及び大阪府災害医療救護マニュアルに従い、各災害協力病院と関係機関が連携し、適切な対応ができるように、機器操作訓練、実働訓練を行った(災害拠点病院主催)。

開催年月日	主な内容
令和5年(2023年) 10月14日	・大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練 ・机上訓練 多数傷病者受入れ ・講義:災害医療体制について ・講義:災害時における府保健所の役割・体制について
令和6年(2024年) 10月5日	・講義:DHCoS(災害時病院対応と機能維持支援シュミレーション)について ・大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練 ・参加型講義:多数傷病者受入れ
令和7年(2025年) 10月18日	・オリエンテーション ・実習「新EMIS」入力訓練 ・豊中市の災害医療体制について ・講評

イ 吹田市一斉合同防災訓練における独自訓練等

吹田市一斉合同防災訓練における健康医療部の独自訓練として、ブラインド型訓練を実施した。

また、大阪府救急・災害医療情報システムの入力訓練、MCA 無線や衛星電話の発信訓練、発電機の使用訓練を毎年実施している。

開催年月日	主な内容
令和6年(2024年) 3月	机上訓練として想定被災状況下における情報共有方法や関係機関との連携について検討。 (令和6年能登半島地震の被災地支援に注力するため、吹田市一斉合同訓練の実働訓練については中止)
令和7年(2025年) 1月19日	事前訓練として、“避難所巡回計画の策定・支援チーム派遣要請と受け入れ準備”について検討し、訓練当日は発災直後の保健医療調整本部設置と発災72時間後の独自ミッションを付与しブラインド訓練を実施。
令和7年(2025年) 8月30日	事前訓練として、“保健医療福祉調整本部のレイアウト展開、避難所巡回計画の策定、DHEAT及び公衆衛生チームの活動拠点等”について検討し、訓練当日は発災直後の保健医療調整本部設置と発災72時間後の独自ミッションを付与しブラインド訓練を実施。

18 統計事務

(1) 各種調査

名称	調査基準日	対象	件数	調査内容
人口動態調査業務	通年	吹田市 全域	—	各種人口動態調査票について、審査、照会、回答、移送等の業務
国民生活基礎調査	令和7年 (2025年) 6月5日	6地区	448	国民の保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的な事項に関する調査
社会保障・人口問題基本調査	令和6年 (2024年) 7月1日	1地区	74	社会保障及び人口問題に関する調査。5つの調査で構成されており、令和6年度(2024年度)は、「世帯動態調査」を実施

19 保健所業務の総合調整

(1) 保健所内の総合調整

保健所における事業の円滑な推進を図るため、各室課間の総合調整を行っている。

(2) 関係機関との連絡調整

保健所における保健医療施策の推進や、大規模災害時の医療提供体制、新型インフルエンザ等感染症対応の協力体制の整備等のため、医療関係機関との連絡調整を行っている。

20 施設設備の管理及び整備

(1) 庁舎の維持管理状況

区 分	施工内容	数量	金額 (円)	工事完了年月日
施設改修	駐車場補修業務	1	336,600	令和 7 年(2025 年) 12 月 6 日
施設改修	消防用設備補修業務	1	462,000	令和 7 年(2025 年) 12 月 20 日
施設改修	防煙垂れ壁修繕業務	1	333,000	令和 8 年(2026 年) 3 月 22 日
施設改修	ファイヤーダンパー修繕業務	1	539,000	令和 8 年(2026 年) 3 月 30 日
施設改修	玄関自動扉修繕業務	1	456,500	令和 8 年(2026 年) 3 月 31 日
施設改修	その他修繕業務	10	927,465	随 時

(2)主たる備品の購入状況

令和 7 年度(2025 年度) 災害用ポータブル電源 1 個 97,900 円

21 保健衛生関係の表彰

(1)個 人

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(2)団 体

- ① 厚生労働大臣表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ② 大阪府知事表彰(食品衛生功労) 該当なし
- ③ 大阪府知事表彰(環境衛生功労) 該当なし

(3)施 設

- ① 大阪府知事表彰(食品) 飲食店営業施設等 1施設
- ② 大阪府知事表彰(環境) 理容所、美容所施設等 3施設
- ③ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰 (食品) 食品関連施設 3施設
- ④ 公衆衛生協力会優良施設(所長・協力会長)表彰(環境) 理容所、美容所施設等 4施設

22 厚生労働統計関係の表彰 1名

23 研修及び実習指導関係

(1)医師臨床研修

対象:社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院 初期臨床研修医

期間:令和7年(2025 年)4月1日～令和8年(2026 年)3月31日

内容:保健所における予防医療理解のため、結核接触者検診・管理検診に各1～2名見学

(2)医師学生実習

対象:大阪大学医学部4年2名

期間:令和7年(2025年)7月28日～令和7年(2025年)8月1日

内容:保健所における公衆衛生業務と健康まちづくりの取組を学ぶ

(3)保健師学生等実習指導

派遣元の施設名	期 間	日数	人員	内 容
大和大学	令和7年(2025年)7月7日～ 令和7年(2025年)7月25日	15	5	保健所における 公衆衛生活動 についての指導
藍野大学	令和7年(2025年)7月28日～ 令和7年(2025年)8月1日 令和7年(2025年)8月25日～ 令和7年(2025年)9月12日	15	5	
梅花女子大学	令和7年(2025年)6月9日～ 令和7年(2025年)7月4日	15	3	

(4)薬学生実務実習(一般社団法人吹田市薬剤師会からの依頼による)

実 施 日	人員	内 容
令和7年度(2025年度)第Ⅱ期(令和7年(2025年)6月19日)	20	1)保健所とその業務について 2)保健所の薬剤師について 3)薬物乱用防止について
令和7年度(2025年度)第Ⅲ期(令和7年(2025年)10月30日)	15	
令和8年度(2026年度)第Ⅰ期(令和8年(2026年)3月12日)	17	

24 広報

- ・薬物乱用は「ダメ、ゼッタイ。」(市報すいた、市役所デジタルサイネージ、SNS)
- ・薬と健康の週間(市報すいた、ホームページ、SNS)
- ・健康サポート薬局ってなに?(市役所デジタルサイネージ)
- ・麻薬・覚醒剤乱用防止運動月間(市報すいた)
- ・11月はみんなで医療を考える月間(市報すいた、ホームページ、SNS)
- ・11月30日(いい看取り、看取られ)は「人生会議」の日(市報すいた、ホームページ、SNS)

衛生管理課事務概要

市民の生活衛生の維持向上及び安全確保を図るため並びに愛護動物の適正飼養等を推進するため、関係機関と密接に連携をとりながら食品衛生、環境衛生、狂犬病予防及び動物愛護の各業務を実施した。

1 食品衛生

(根拠法令:食品衛生法、食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律、大阪府ふぐ処理登録者の規制に関する条例、食品表示法)

食品衛生法等の関係法令に基づき、飲食店営業等の食品営業許可及び届出等の許認可等事務を実施した。

営業許可及び届出を要する食品関係施設に立ち入り、施設の衛生管理、食品の衛生的な取扱い、適正表示等について監視指導を実施した。

食品等に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、令和7年(2025年)度食品衛生監視指導計画に基づき、施設の監視指導を実施した。このうち、事故発生時に危害が拡大しやすいスーパーなどの大規模小売店や食品製造施設については、重点監視対象施設として、食品衛生監視票を用いた監視指導を実施した。

医師、患者、他自治体等からの食中毒を疑う事例の通報等に基づき、患者調査、検査、施設立入調査等の食中毒調査を実施した。なお、令和7年度(2025年度)に食中毒と断定した事例は1件であった。

市内で製造、加工、販売等される食品等について、流通量の季節的变化、規格基準等を考慮し、収去検査を実施した。

食中毒の原因となった施設や残留農薬等の規格基準に適合しない食品に対しては、法令に基づき営業の禁・停止、食品等の回収・廃棄等の行政処分を実施し、令和7年度(2025年度)は1件の行政処分(営業の停止)を行った。

食品の異物混入、摂食後の体調不良等の届出や営業者からの許認可、届出業、衛生管理等の相談に対し、調査、指導等を実施した。

食品衛生に関する知識や食中毒予防の普及啓発を目的とし、食品等事業者や消費者に対し、衛生講習会を実施した。市報や市ホームページ、公式SNSを用い、カンピロバクター食中毒をはじめとする細菌性食中毒やノロウイルス食中毒予防について情報発信した。また、管内大学の学生に対して大学内イントラネットを活用してカンピロバクター食中毒予防について発信した。さらに、焼き鳥店、居酒屋等の施設に立入りし、カンピロバクター食中毒の危険性を周知し、生又は加熱不十分な鶏肉の提供自粛を指導した。

医師、施設等からの感染症に関する届出や報告のうち、感染性胃腸炎等については、地域保健課感染症担当と連携し、摂食した食品に起因する可能性がないか調査を行うとともに施設関係者への衛生指導等を実施した。

(1)監視指導

ア 旧食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	1,465	135	995	183	559	78
菓 子 製 造 業	212	23	135	20	69	9
乳 製 品 製 造 業	4	0	2	0	2	0
魚 介 類 販 売 業	40	19	28	11	17	3
魚肉ねり製品製造業	2	1	1	1	1	1
食品の冷凍又は冷蔵業	7	4	6	0	4	2
びん詰食品製造業	4	2	2	1	1	1
喫 茶 店 営 業	30	5	22	1	11	3
アイスクリーム類製造業	10	1	6	1	5	0
食 肉 処 理 業	4	7	4	3	2	0
食 肉 販 売 業	54	24	41	14	32	5
食 肉 製 品 製 造 業	1	3	1	1	0	0
食用油脂製造業	0	0	0	0	0	0
み そ 製 造 業	1	0	1	0	0	0
醬 油 製 造 業	1	0	1	0	0	0
ソ ー ス 類 製 造 業	1	0	1	0	1	0
酒 類 製 造 業	0	0	0	0	0	0
豆 腐 製 造 業	2	0	2	0	0	0
め ん 類 製 造 業	10	0	7	0	5	0
そうざい製造業	27	7	19	2	14	2
添 加 物 製 造 業	1	1	1	1	0	0
清涼飲料水製造業	2	2	1	0	0	0
合 計	1,878	234	1,276	239	723	104

※令和6年度版事務概要の数値に誤りがあったため、訂正しています。

イ 改正食品衛生法に基づく許可を要する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数
飲 食 店 営 業	1,824	756	2,299	646	2,771	746
調理の機能を有する自動 販 売 機	14	5	21	4	27	4
食 肉 販 売 業	63	34	77	31	87	39
魚 介 類 販 売 業	34	21	40	22	53	32
食 肉 処 理 業	1	1	1	2	1	0
菓 子 製 造 業	191	83	246	81	300	104
アイスクリーム類製造業	2	0	3	1	3	1
乳 製 品 製 造 業	0	0	1	1	1	0
清涼飲料水製造業	2	2	3	2	4	2
食 肉 製 品 製 造 業	1	2	1	1	2	1
水 産 製 品 製 造 業	2	1	3	3	4	1
食 用 油 脂 製 造 業	0	0	0	0	0	0
みそ又はしょうゆ製造業	1	1	1	0	1	0
酒 類 製 造 業	1	2	1	1	1	0
豆 腐 製 造 業	1	0	1	0	2	1
麺 類 製 造 業	5	3	6	2	8	2
そうざい製造業	46	21	59	20	66	17
複合型そうざい製造業	2	1	2	0	2	0
冷 凍 食 品 製 造 業	1	1	1	2	1	0
複合型冷凍食品製造業	0	0	0	0	0	0
漬 物 製 造 業	4	4	6	2	6	1
密封包装食品製造業	2	0	4	2	4	0
食 品 の 小 分 け 業	5	2	5	0	5	1
添 加 物 製 造 業	5	3	5	2	6	1
合 計	2,207	943	2,786	825	3,355	953

ウ 改正食品衛生法に基づく届出(※)を要する営業施設監視指導状況

業 種 別		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
		施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数	施 設 数	監視回数
旧許可業種で あった営業	魚 介 類 販 売 業 (包装済みの魚介類のみの販売)	63	6	49	9	31	3
	食 肉 販 売 業 (包装済みの食肉のみの販売)	70	5	55	8	36	4
	乳 類 販 売 業	180	29	161	27	137	12
	氷 雪 販 売 業	4	1	3	0	3	1
	コップ式自動販売機 (自動洗浄・屋内設置)	237	0	266	1	228	0
販 売 業	弁 当 販 売 業	20	0	30	3	33	0
	野 菜 果 物 販 売 業	43	0	52	0	61	2
	米 穀 類 販 売 業	20	0	21	0	22	0
	通信販売・訪問販売による 販 売 業	8	0	10	0	12	0
	コンビニエンスストア	86	5	102	11	121	17
	百貨店、総合スーパー	69	31	74	27	80	25
	自動販売機による販売業 (コップ式自動販売機(自 動洗浄・屋内設置)を除く)	117	7	130	5	130	4
	その他の食料・飲料販売 業	699	14	833	17	941	13
製 造 ・ 加 工 業	添加物製造・加工業(法第 13 条第1項の規定により 規格が定められた添加物 の 製 造 を 除 く。)	0	0	0	0	1	1
	いわゆる健康食品の製 造・加工業	3	0	4	1	6	1
	コーヒー製造・加工業 (飲料の製造を除く)	35	1	44	1	53	3
	農産保存食料品製造・加工業	1	0	2	0	2	0
	調味料製造・加工業	11	0	13	1	14	0
	糖 類 製 造 ・ 加 工 業	1	0	1	0	1	0
	精 穀 ・ 製 粉 業	1	0	1	0	1	0
	製 茶 業	2	0	6	0	6	1
	卵 選 別 包 装 業	0	0	0	0	1	0
	その他の食料品製造・加工業	37	2	49	3	55	2
上記以外 のもの(改 正法によ る改正後 の法第 68 条第3項に おいて準	行 商	44	2	57	0	67	0
	集 団 給 食 施 設	117	21	125	22	135	16
	器具、容器包装の製造・加工業 (合成樹脂が使用された器具又は容器包装の製造、加工に限る)	3	0	5	0	7	0
	露店、仮設店舗等における飲食の 提供のうち、営業とみなされないもの	4	0	3	0	3	0
	そ の 他	3	1	4	0	5	1

用されるものを含む)							
合 計	1,878	125	2,100	136	2,192	106	

※食品衛生法改正により、非許可営業施設ではなく届出を要する営業施設になり、業種が変わったため。

エ 府条例により許可を要する営業

業 種 別		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
		施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
ふぐ処理業	飲 食 店 営 業	16	3	11	2	6	1
	魚 介 類 販 売 業	11	10	8	6	6	1
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
	合 計	27	13	19	8	12	2

オ 改正食品衛生法に基づくふぐを処理する営業施設監視指導状況

業 種 別	令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数	施 設 数	監 視 回 数
飲 食 店 営 業	15	5	18	3	24	7
魚 介 類 販 売 業	12	8	14	3	17	8
合 計	27	13	32	6	41	15

カ 食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律に規定する営業

業 種 別	令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	施設数	監視回数	施設数	監視回数	施設数	監視回数
食鳥処理場(30万羽以上処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(生体から処理)	0	0	0	0	0	0
認定小規模食鳥処理場(と体から処理)	5	3	5	2	5	2
合 計	5	3	5	2	5	2
届出食肉販売業	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0

(2)食中毒

ア 食中毒発生状況(管内)

令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)							
事件数	事件数	発生年月日	発生場所	患者数	症状	原因食品	原因物質	原因施設	備考
3	2	令和8年 (2026年) 2月12日	吹田市	16	下痢、 嘔吐、 発熱	2月11日 に提供さ れた食事	ノロウイ ルスGⅡ	飲食店	

イ 食中毒関連調査(他府県市等管外からの依頼調査)

令和5年度 (2023年度)			令和6年度 (2024年度)			令和7年度 (2025年度)			備 考
調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	調査件数	調査人数	患者数	
15	29	22	16	31	28	16	41	29	

ウ 食中毒等関連検査

検 体 名	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
食 品	0	0	0
便	54	50	44
吐 物	0	0	0
ふきとり	0	0	0
容 器	0	0	0
その他	0	0	0
合 計	54	50	44

(3)食品等の検査

検 体 名	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
魚 介 類	7	8	7
冷 凍 食 品	6	9	8
魚 介 類 加 工 品	10	7	6
肉・卵類及びその加工品	19	25	25
乳 製 品	7	13	7
乳 類 加 工 品	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓	4	4	4
穀 類 及 び そ の 加 工 品	2	2	4
野菜類・果物及びその加工品	32	29	27
菓 子 類	7	8	9
清 涼 飲 料 水	3	1	3
水	1	1	1
酒 精 飲 料	0	3	1
かん詰・びん詰食品	3	0	2
そ の 他 の 食 品	16	10	9
器 具 容 器 包 装	1	1	1
お も ち や	1	1	1
添加物化学的合成品	0	0	0
小 計	119	122	115
生乳・牛乳・加工乳等	6	6	6
ふ き と り 検 査	0	0	0
そ の 他	152	198	198
合 計	277	326	319

(4)違反処分の状況

令和5年度(2023 年度)				令和6年度(2024 年度)				令和7年度(2025 年度)			
違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置	違反 件数	業種	違反 内容	措置
2	飲食店 営業	法第6 条第3 号違反	営 業 停 止	1	飲食店 営業	法第6 条第3 号違反	営 業 停 止	1	飲食店 営業 菓子製 造業	法第6 条第3 号違反	営 業 停 止

法:食品衛生法

(5) 食品衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分	令和5年度(2023年度) 処理数	令和6年度(2024年度) 処理数	令和7年度(2025年度) 処理数
食品衛生法に基づくもの	786	616	653
食鳥関係に基づくもの	0	0	0
証 明 願	6	16	5
合 計	792	632	658
当 年 度 収 入 済 額	7,238,900 円		

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和5年度(2023年度) 処理数	令和6年度(2024年度) 処理数	令和7年度(2025年度) 処理数
食品衛生法に基づく各種届	1,175	1,220	1,377
府 条 例 に 基 づく 各 種 届	9	1	3
食鳥関係に基づく各種届	1	1	0
その他各種届(臨時出店届)	96	148	145

(6) 苦情・相談処理状況

	令和5年度(2023年度)			令和6年度(2024年度)			令和7年度(2025年度)		
	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計	苦情	相談	合計
処理件数	128	1,759	1,887	181	1,788	1,969	154	1,767	1,921

(7) 衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

日 時	場 所	対 象 者	参 加 者	内 容 等
令和7年(2025年) 6月26日	吹田市総合福祉会館3階 研修センター	各地区福祉委員会	51名	一般衛生管理及び 食中毒予防
令和7年(2025年) 7月23日	吹田市総合防災センター 9階	営業者(特定給食 施設等の給食調理 員)	約150名	食品衛生法、 HACCP

令和7年(2025年) 8月7日	山手地区公民館	消費者	13名	食中毒予防
令和7年(2025年) 9月10日	関西大学第一高等学校 親和ホール	学生	約200名	食中毒予防
令和7年(2025年) 10月22日	関西大学千里山キャンパス KUシンフォニーホール	学生	約200名	食中毒予防

(8) 感染性事例に係る業務実績 10件

調査年月日	件名
令和7年(2025年)7月16日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)7月29日	腸管出血性大腸菌(O26)感染症
令和7年(2025年)8月15日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)10月3日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)10月10日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)10月17日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)11月4日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症
令和7年(2025年)12月24日	腸管出血性大腸菌感染症
令和8年(2026年)1月15日	ノロウイルス感染症
令和8年(2026年)2月19日	腸管出血性大腸菌(O157)感染症

2 環境衛生

(根拠法令 公衆浴場法、旅館業法、興行場法、理容師法、美容師法、水道法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等)

(1) 監視指導

ア 生活衛生関係営業施設

生活衛生関係営業施設(理容所、美容所、クリーニング所、旅館、興行場及び公衆浴場)について、法令に基づき許可又は確認を行うとともに、衛生措置基準の遵守、施設の維持管理向上を図るため監視指導を行った。

イ 遊泳場

大阪府遊泳場条例に基づき、遊泳場における公衆衛生の確保と危険の防止を図るため、維持管理状況調査を実施し、必要に応じて指導を行った。

ウ 建築物衛生対策

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき特定建築物に係る各種届出の受理を行うとともに、衛生管理基準の遵守、管理記録の整備等の指導を行った。

エ 住居衛生対策

快適な住環境を確保するため、住まいの相談に対して助言や情報提供を行った。

オ 住宅宿泊事業

住宅宿泊事業法に基づき、各種届出の受理、届出施設への監視指導を行った。

カ レジオネラ対策

公衆浴場許可施設、公衆浴場法等の規制を受けない社会福祉施設等における浴場施設及び遊泳場について、必要に応じ助言指導を行った。また、市内の特定建築物を対象に、レジオネラ属菌が繁殖しやすい条件が整う可能性のある冷却塔及び水景施設の有無や、維持管理状況調査を行った。

キ 蚊媒介感染症対策

蚊が媒介する感染症のまん延を未然に防ぐために、ウイルスを媒介する可能性のある蚊を捕獲し、蚊の種類や数、ウイルスの保有状況の調査を行った。

ク 家庭用品

有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき、ベビー服・下着等の衣料品等を購入し、規制基準に適合しているかどうかの検査を実施した。

ケ 水道

水道法に基づき、専用水道における衛生管理についての指導を行い、令和8年度より水道水の水質基準に新たに加えられる PFOS 及び PFOA に関して、周知及び指導を行った。

同じく水道法に基づき、簡易専用水道について、定期検査結果から不適もしくは概ね適の施設に対し改善指導を行った。また、小規模貯水槽水道についても、必要に応じ受水槽管理の指導を行った。

コ 温泉

源泉所有施設に対して温泉の利用状況調査を行った。

(2) 監視指導状況

ア 監視件数

施設名		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
		施設数	監視数	施設数	監視数	施設数	監視数
営業関係施設	旅館	13	11	14	13	14	13
	興行場	3	0	3	3	3	3
	公衆浴場	27	33	25	31	26	36
	理容所	181	24	165	31	157	36
	美容所	545	69	546	124	550	95
	クリーニング所※ ¹	248	14	241	41	231	21
水道関係	専用水道	14	17	14	19	13	16
	特設水道	1	1	1	1	1	1
	簡易専用水道	725	0	712	0	709	0
	小規模貯水槽水道	1,878	0	1,816	0	1,775	0
	井戸等	—	2	—	2	—	0
建築物衛生関係	特定建築物	138	22	138	19	139	45
遊泳場関係	通年プール	17	22	17	35	17	40
	夏期プール	3	2	3	4	3	6
住宅宿泊事業	届出住宅	10	5	19	15	20	18
その他の施設	化製場	3	0	3	0	3	0
	畜舎・家禽舎	26	1	26	0	26	0
	温泉利用施設	3	6	3	3	3	3
関連業務※ ²	住居衛生関係	—	1	—	4	—	2
	ねずみ・衛生害虫駆除指導	—	24	—	20	—	21
	感染症対策	—	2	—	0	—	2
合 計		3,835	256	3,746	365	3,690	358

※1 クリーニング所には無店舗取次店を含む。

※2 関連業務には指導数も含む。他は監視数。

イ 違反処分の状況

該当なし

(3) 環境衛生事務取扱状況

ア 手数料を要するもの

区 分			手数料(円)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
温 泉	利 用 許 可 申 請		35,000	1	1	0
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
旅 館 業	許 可 申 請		22,000	0	1	0
	承 継 承 認 申 請		7,400	0	0	0
	事 業 譲 渡		16,300	0	0	0
公 衆 浴 場	許 可 申 請		22,000	0	3	2
	事 業 譲 渡		16,300	0	0	0
興 行 場	許可申請	常 設	18,200	0	0	1
		常設以外	8,900	0	0	0
	事業譲渡	常 設	13,500	0	0	0
		常設以外	8,700	0	0	0
クリーニング所	新 規 開 設		16,000	0	4	2
	事 業 譲 渡		12,900	0	0	0
理 容 所	新 規 開 設		16,000	6	3	3
	事 業 譲 渡		12,900	0	0	0
美 容 所	新 規 開 設		16,000	37	43	33
	事 業 譲 渡		12,900	2	0	0
営 業 関 係 証 明 願			300	0	0	0
動 物 飼 養 場 許 可 申 請			8,200	0	0	0
合 計				46	55	41
令和7年度(2025年度)収入済額			670,200			

イ 手数料を要しないもの

区 分	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
水 道 関 係	62	64	60
特 定 建 築 物	36	34	43
建 築 物 衛 生 管 理 業	26	19	23
温 泉	2	3	2
旅 館 業	4	7	5
興 行 場	2	1	2
公 衆 浴 場	14	15	14
理 容 所	16	18	20
美 容 所	69	78	103
ク リ ー ニ ン グ 所	21	25	23
化 製 場 法 関 係	0	1	0
住 宅 宿 泊 事 業	2	9	14
合 計	254	274	309

ウ 大阪府からの事務委託等

区 分	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
温 泉	許 可 ・ 承 継 承 認 申 請	0	0
	工事完了・地位承継・廃止届出	0	1
	可燃性天然ガス濃度確認申請	0	0
	可燃性天然ガス濃度確認地位承継届出	0	1
遊 泳 場	開 設 許 可 申 請	0	0
	変 更 ・ 承 継 ・ 供 用 開 始 ・ 再 開 ・ 休 止 ・ 廃 止 届 出 書	8	11
ク リ ー ニ ン グ 師	免 許 ・ 受 験 に 関 す る 受 理	2	3
建 築 物 衛 生 管 理 業 の 登 録 申 請		17	10
合 計		27	24
			17

根拠:温泉法関係事務交付金交付要綱

大阪府遊泳場条例事務交付金交付要綱

クリーニング師試験及び免許事務交付金要綱

建築物衛生管理事業登録事務交付金交付要綱

環境衛生事務委託契約

(4) 苦情・相談処理状況

種 別	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
営 業 関 係	49	54	64
飲 料 水 関 係	4	5	16
そ 族 昆 虫 駆 除 関 係	24	20	21
住 居 衛 生 関 係	1	4	2
住 宅 宿 泊 事 業 関 係	16	10	24
そ の 他	10	9	26
合 計	104	102	153

(5)衛生教育・啓発キャンペーン実施状況

該当なし

(6)現場検査実施状況(検査件数)

項 目	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
ダニ等昆虫の検鏡	0	1	1
残 留 塩 素 測 定	107	119	103
住 居 内 空 気 環 境	0	0	0
合 計	107	120	104

(7)講習会実施状況

日 時	場 所	対 象 者	参加者	内 容 等
令和7年(2025年) 10月14日	吹田市立勤労者会 館別館視聴覚室	大阪府理容生活衛生 同業組合吹田支部員	10名	理容所における消毒・ 健康づくりの4本柱・薬 の正しい使い方につ いて

(8)その他特記すべき事項

なし

3 狂犬病予防・動物愛護管理

狂犬病予防法等関係法令に基づき、飼い犬登録、狂犬病予防注射済票の交付等の事務を実施した。狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する法律等関係法令に基づき、犬や負傷した愛護動物を保護し、飼い犬・飼い猫等の引取りを行い、譲渡等を実施した。また、苦情相談対応等を行った。

猫による生活環境被害の解消及び動物愛護を目的に避妊・去勢手術費の一部補助や地域猫活動の支援を行った。

広報活動としては、市報や市ホームページ、公式SNSを用いて、犬や猫の飼い主に対して適正な飼養が行われるように啓発し、市民に動物愛護週間、地域猫活動への支援、補助金などの情報提供を行った。また、動物愛護教育として、市内の小中学校で出前教室を実施し、小学2年生にリーフレットの配布を行った。

(1) 狂犬病予防

項目 年度	飼犬 登録頭数	新規登録頭数 (うち委託数)	注射済票交付件数 (うち委託数)	死亡届出数	転出届出 数	転入届出 数
令和5年度 (2023年度)	16,123	1,699(191)	9,784(7,072)	1,042	745	732
令和6年度 (2024年度)	16,337	1,548(40)	10,145(7,438)	1,080	792	899
令和7年度 (2025年度)	16,986	1,704(45)	9,908(7,438)	900	990	828

(2) 動物愛護管理

ア 苦情相談件数

(ア) 犬に関する苦情相談

項目 年度	捕獲 依頼	負傷	引取り		行方 不明	譲渡	苦情				その他	計
			所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和5年度 (2023年度)	3	0	23	2	38	18	44	7	5	37	24	201
令和6年度 (2025年度)	6	1	14	0	20	4	28	7	7	29	22	138
令和7年度 (2025年度)	2	0	7	0	22	16	63	7	3	46	17	183

(イ) 猫に関する苦情相談

項目 年度	負傷	引取り		行方 不明	譲渡	苦情				地域猫	その他	計
		所有者から	所有者不明			環境被害	放飼い	遺棄虐待	咬傷事故			
令和5年度 (2023年度)	11	24	20	84	23	144	0	10	0	69	76	461
令和6年度 (2024年度)	9	27	5	77	50	94	1	5	0	37	90	395
令和7年度 (2025年度)	7	33	4	78	38	77	1	6	0	17	111	372

(ウ) その他動物に関する苦情相談

項目 年度	負傷	行方 不明	譲渡	苦情				その他	計
				環境被害	放 飼 い	遺棄虐待	咬傷事故		
令和5年度 (2023年度)	0	59	1	3	0	6	0	37	106
令和6年度 (2024年度)	1	21	1	3	0	3	0	24	53
令和7年度 (2025年度)	0	33	1	2	0	0	0	41	77

イ 動物の収容処分件数 ※以下の表の収容数と処分数の合計は年度繰り越しがあるため一致しない

(ア) 犬の収容処分

項目 年度	収容					処分			
	捕獲	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和5年度 (2023年度)	2	3	0	0	5	2	2	0	4
令和6年度 (2024年度)	2	4	0	0	6	2	2	1	5
令和7年度 (2025年度)	1	0	0	0	1	1	2	0	3

(イ) 猫の収容処分

項目 年度	収容				処分			
	引取り	所有者不明引取り	負傷動物	計	返還	譲渡	殺処分	計
令和5年度 (2023年度)	3	0	6	9	0	6	2	8
令和6年度 (2024年度)	23	0	4	27	0	19	4	23
令和7年度 (2025年度)	5	0	9	14	0	10	7	17

ウ 飼い猫等の避妊・去勢手術費等補助金の交付

項目 年度	実績件数					
	予算額	支出額	野良猫	飼い猫	総数	取消・辞退
令和5年度 (2023年度)	1,000,000	560,000	56	112	168	18
令和6年度 (2024年度)	2,380,000	1,378,880	156	—	156	—
令和7年度 (2025年度)	2,710,000	2,702,588	187	—	187	—

※令和6年度(2024年度)より野良猫のみ補助対象。

エ 地域猫活動支援事業における団体登録及び避妊・去勢手術費等補助金の交付

項目 年度	登録団体数	避妊・去勢手術等補助金交付件数
令和5年度 (2023年度)	13団体	54匹分(手術費)
令和6年度 (2024年度)	15団体	19匹分(捕獲運搬費)
令和7年度 (2025年度)	12団体	6匹分(治療費)

地 域 保 健 課 事 務 概 要

地域保健課の業務は、結核、感染症、精神保健、難病、予防接種など多岐にわたり、地域住民の健康の保持・増進、疾病の予防に努めた。

1 結核予防

(1) 健診及び相談業務

ア 接触者健康診断

区 分		実施延べ 人員		直接撮影		QFT 検査		喀痰検査		ツベルクリ ン反応		発見患者	潜在性結核感染症
		保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託	保健所実施	委託		
令和5年度 (2023 年度)		177	20	54	6	121	12	2	0	0	0	2	4
令和6年度 (2024 年度)		116	11	34	4	85	9	2	0	0	1	0	6
令和7年度 (2025 年度)		105	8	41	1	83	7	2	0	0	0	0	2
接 触 者 健 診	患者家族	36	1	13	1	32	0	0	0	0	0	0	0
	患者接触者	69	7	28	0	51	7	2	0	0	0	0	2

イ 結核定期健康診断

項 目		令 和 5 年 度 (2023 年度)	令 和 6 年 度 (2024 年度)	令和7年度(2025 年度)				
				事 業 者	学 校 長	施 設 長	市町村長	計
間 接 撮 影 者 数		956	3,376	2,669	197	254	0	3,120
直 接 撮 影 者 数		56,923	58,017	18,558	9,909	569	24,952	53,988
要 精 密 検 査		200	1,028	107	17	29	758	911
発 見 患 者	結核患者	0	1	0	0	0	1	1
	結核発症の恐れ があるもの(※)	0	0	0	0	0	0	0

(※)定期的に医師の観察指導を必要とするもの

(2) 結核患者管理

ア 新登録患者、喀痰塗抹陽性患者、年末現在活動性結核患者の推移

	新登録患者		喀痰塗抹陽性患者		年末現在活動性結核患者	
	患者数	罹患率	患者数	喀痰塗抹 罹患率	患者数	有病率
令和3年(2021 年)	32	8.2	17	4.4	31	8.0
令和4年(2022 年)	32	8.2	12	3.3	25	6.4
令和5年(2023 年)	33	8.6	16	3.8	23	5.9
令和6年(2024 年)	33	8.4	12	3.1	25	6.5
令和7年(2025 年)※	28	7.1	8	2.0	23	5.8

※速報値のため、集計により数値が変動する場合がある。

$$\text{○罹患率(人口 10 万対)} = \frac{\text{新登録結核患者数}}{\text{人口(各年 10 月 1 日推計人口)}} \times 10 \text{ 万}$$

$$\text{○有病率(人口 10 万対)} = \frac{\text{年末現在活動性結核患者数}}{\text{人口(各年 10 月 1 日推計人口)}} \times 10 \text{ 万}$$

イ 登録患者の状況

(ア) 登録時総合患者分類コード別、年齢階級別新登録者数(令和 7 年(2025 年)12 月末の状況)

区 分	活 動 性 結 核				肺 外 結 核 活 動 性	計	潜在性 結核 感染症 (別 掲)
	肺 結 核 活 動 性						
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性	登 録 時 菌 陰 性 ・その他			
	初 回 治 療	再治療					
0 ～ 4歳	0	0	0	0	0	0	0
5 ～ 9歳	0	0	0	0	0	0	0
10 ～ 14 歳	0	0	0	0	0	0	0
15 ～ 19 歳	0	0	0	0	0	0	0
20 ～ 29 歳	0	0	2	0	1	3	1
30 ～ 39 歳	0	0	0	0	1	1	1
40 ～ 49 歳	0	0	0	0	0	0	0
50 ～ 59 歳	0	0	1	0	0	1	2
60 ～ 69 歳	1	0	0	1	1	3	0
70 歳 ～	7	0	9	0	4	20	3
不 明	0	0	0	0	0	0	0
計	8	0	12	1	7	28	7

(イ)活動性分類別受療状況別登録者数（令和7年(2025年)12月末の状況）

区 分	活 動 性 結 核				肺 外 結 核 活 動 性	不 活 動 性 結 核	活 動 性 不 明	計	潜在性 結核 感染症 (別掲)	非結核 性抗酸 菌陽性 (別掲)
	肺 結 核 活 動 性									
	登録時喀痰塗抹陽性		登 録 時 その他の 菌 陽 性							
	初回治療	再 治 療								
入 院	4	0	2	0	2	0	0	8	0	0
通 院	3	0	6	1	5	0	0	15	1	0
医療なし	0	0	0	0	0	54	5	59	8	0
不 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	0	8	1	7	54	5	82	9	0

(ウ)管理健診実施状況(令和7年度(2025年度))

対 象 数	受 診 者 数				勧奨に対する 受診率(%)
	保 健 所	委 託 機 関	そ の 他	計	
129	47	15	62	124	96.1

(エ)医療費公費負担状況(結核のみ)

区 分		令 和 5 年 度 (2023 年度)		令 和 6 年 度 (2024 年度)		令 和 7 年 度 (2025 年度)	
		件 数	申請に対す る 比 (%)	件 数	申請に対す る 比 (%)	件 数	申請に対す る 比 (%)
通院患者 (37 条 の 2)	申 請	60		61		55	
	合 格	60	100	61	100	55	100
	公費負担承認	60		61		55	
入院勧告 (37 条)	申 請	54		24		42	
	合 格	54	100	24	100	41	97.6
感染症診査協議会開催回数 (下記電子メール診査回数は含めない)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)		24 回 (毎月第2・第4 火曜日)	
電子メール診査(※1)回数		17 回		9 回		16 回	

※1 法第20条に基づく入院延長の適否について、簡易な方法で協議会へ意見聴取を行うもの

(附 表) 吹田市感染症診査協議会 委員名簿

令和8年(2026年)3月31日現在

氏 名	役 職 名
阿部 欣也	会 長 市立豊中病院部長兼内科部長兼感染対策室長
大谷 安司	副会長 市立池田病院 呼吸器内科部長
藤川 健弥	委員 (独法)兵庫中央病院 結核内科 内科医長
土谷 之紀	委員 (一社)箕面市医師会
宇治田 尚子	委員 元大阪府藤井寺保健所保健補佐
森田 理恵	委員 近畿大学法学部 非常勤講師

(オ)結核患者への訪問指導等

	訪問指導		相談	
	件数(実)	件数(延)	電話(延)	来所(延)
令和5年度(2023年度)	108	211	511	149
令和6年度(2024年度)	161	238	711	131
令和7年度(2025年度)	54	142	302	307

ウ 会議、研修会、啓発の実施状況

(ア)他機関との連携会議

開催会議	内容	開催回数
結核患者治療成績 評価検討会 (コホート検討会)	結核患者の治療成績や支援経過を振り返り、DOTSの実施方法及び患者支援の評価、地域の結核対策について検討する会議 外部評価者(大阪はびきの医療センター・市立吹田市民病院・大阪健康安全基盤研究所)	4回 (令和7年5月、8月、 11月、令和8年2月)
DOTS 会議	治療中の結核患者を対象に、地域での服薬支援について検討する保健所と医療機関との連携会議	9回

※DOTS:結核医療における直接服薬確認療法

(イ)感染症に関する研修会

事業名	開催日	講演テーマ	参加者
感染症・結核対策 医療機関講習会 (一社)吹田市医師会共催事業	令和8年 (2026年) 3月12日	「外来診療での結核の見方」 地方独立行政法人 市立吹田市民病院 呼吸器・リウマチ科部長 鉄本 訓史 医師	85人

(ウ)結核に関する啓発

事業名	開催期間	内容
結核・呼吸器 感染症予防週間	令和7年(2025 年) 9 月 24 日～30 日	・厚生労働省及び結核予防会の啓発資材の掲示・配架 ポスター、ティッシュ、リーフレット、うちわを市内の公共施設、 医療機関、大学、薬局等に配付 ・吹田市役所内のホームページ・市報・SNS で周知 ・吹田市保健所ロビーに啓発ブースを設置

2 感染症予防

(1) 一類感染症～五類感染症患者の発生状況

疾 病 名		医師からの届出受理件数		
		令和5年度 (2023 年度)	令和 6 年度 (2024 年度)	令和 7 年度 (2025 年度)
一類感染症		0	0	0
二類感染症	結核	72	74	63
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	9
四類感染症	E 型肝炎	0	1	1
	エムボックス	0	0	1
	つつむが虫病	0	1	1
	デング熱	2	1	0
	日本紅斑熱	0	2	0
	レジオネラ症	7	6	15
五類感染症	アメーバ赤痢	1	3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	16	16	3
	急性脳炎	0	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4	7	7
	後天性免疫不全症候群	1	2	0
	ジアルジア	0	0	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	3	5
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	17	25	17
	水痘(入院例)	0	1	8
	梅毒	38	22	25
	播種性クリプトコックス症	0	0	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1	2
	百日咳	4	11	127
	麻しん	1	0	1
合計 (内、オンラインでの申請件数)		167 (23)	182 (12)	289 (19)

※発生届は最寄りの保健所へ提出となっているため受理件数は他市民を含む。

※麻しんについては報道機関向け情報提供を実施 (令和7年(2025 年)4 月 14 日、令和8年(2026 年)2 月 19 日)

(2)入院勧告及び措置等の状況(令和7年(2025年)4月1日～令和8年(2026年)3月31日)

入院勧告件数		入院措置件数		就業制限通知件数
応急入院	本入院	応急入院	本入院	
16	15	0	0	34

(3)患者同行者・接触者等への疫学調査・相談指導状況

疾 病 名	接触者等 人 数	健康診断 勧告件数	健康診断 措置件数	行政 検査数	陽性数
一類感染症	0	0	0	0	0
二類感染症(結核は除く)	0	0	0	0	0
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	14	14	0	13	3
四類感染症	0	0	0	0	0
五類感染症(相談含む)	113	0	0	2	0

(4)集団発生等相談対応状況

種別	件数 (実数)	内訳					調査・相 談件数 (延べ)	現地調 査・訪問 数	行政 検査数
		高齢者 施設	保育園 幼稚園	医療 機関	小中 学校	その他			
インフルエンザ	11	3	7	0	0	1	14	0	0
新型コロナウイルス 感染症	21	13	0	5	0	3	38	0	0
感染性胃腸炎	35	8	25	2	0	0	242	11	41
カルバペネム耐性腸 内細菌目細菌感染症	4	0	0	4	0	0	20	2	9
バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	2	0	0	2	0	0	10	3	3
多剤耐性緑膿菌感染 症	2	0	0	2	0	0	13	1	0

(5) 患者及び接触者等への疫学調査・行政検査等対応状況(他市からの対応依頼を含む)

疾病名		対応実件数	行政検査実施状況	疫学調査・相談等対応件数(延べ)
三類	腸管出血性大腸菌	32	20	70
四類	E 型肝炎	1	1	2
	エムポックス	1	1	0
	レジオネラ症	14	2	60
	ダニ媒介感染症	4	3	5
	蚊媒介感染症	1	2	4
五類	急性脳炎	1	1	0
	風しん(疑い例含む)	1	1	2
	麻しん(疑い例含む)※	28	25	175
基幹定点	疑似症	1	6	0

3 性感染症予防

(1)性感染症(HIV・AIDS、クラミジア、梅毒等)に関する相談件数

区分	電話	来所
令和5年度(2023年度)	10	3
令和6年度(2024年度)	16	6
令和7年度(2025年度)	11	1

(2)性感染症検査実施状況

区分	検査数	陽性者数		
		HIV	クラミジア	梅毒
令和5年度(2023年度)	131	0	5	3
令和6年度(2024年度)	203	0	16	5
令和7年度(2025年度)	224	0	13	3

※HIV 抗原抗体検査、クラミジア同定 DNA 抗体検査、梅毒血清反応検査を実施。

(3)性感染症に関する啓発等

主な取組内容	実施時期
「吹田市と関西大学」 講義:プレコンセプションケア いつか妊娠する前に知っておいてほしい性感染症と予防接種	令和7年(2025年)5月
出前講座 関西大学 関西大学共通教養科目「吹田市と関西大学」 「プレコンセプションケア いつか妊娠する前に知っておいてほしい性感染症と予防接種」 山田高校 「性感染症ってなに？—自分とみんなを守るために知っておくこと—」 関西大学第一高等学校 「性感染症ってなに？—自分とみんなを守るために知っておくこと—」	令和7年(2025年)5月 令和7年(2025年)9月 令和8年(2026年)2月
6/1～6/7 HIV 検査普及週間における啓発 SNS・本庁デジタルサイネージ、市ホームページや大学ポータルサイトでの情報発信	令和7年(2025年)6月
12/1 世界エイズデーにおける啓発 市報、大学ポータルサイトでの情報発信、啓発グッズの配架	令和7年(2025年)12月
成人祭ポータルサイトでの啓発 梅毒、急増中！～不安に思ったら検査を受けよう～	令和8年(2026年)1月

4 生活習慣病予防（根拠法令:地域保健法）

(1)肝炎・肝がん対策

ア 肝炎インターフェロン・インターフェロンフリー治療医療費助成件数

令和5年度(2023年度)合計	令和6年度(2024年度)合計	令和7年度(2025年度)合計	令和7年度(2025年度)内訳					
			新規申請	2回目申請	変更申請	転入申請	2か月延長申請	6か月延長申請
9	21	17	15	0	0	0	0	0
			受給者証の返却	返戻書類の再送付	再交付願い	取下げ願い	その他	
			0	0	0	2	0	

イ 肝炎核酸アナログ製剤治療医療費助成件数

令和5年度(2023年度)合計	令和6年度(2024年度)合計	令和7年度(2025年度)合計	令和7年度(2025年度) 内訳								
			新規申請	更新申請	変更申請	転入申請	受給者証の返却	返戻書類の再送付	再交付願い	取下げ願い	その他
267	287	285	18	258	4	4	0	0	0	0	1

5 精神保健

(1)措置診察

ア 精神保健指定医による措置診察状況

区 分	令和5年度(2023年度)		令和6年度(2024年度)		令和7年度(2025年度)	
	申請又は通報件数	措置入院となった数	申請又は通報件数	措置入院となった数	申請又は通報件数	措置入院となった数
診察及び保護の申請によるもの	0	0	0	0	0	0
警察官の通報によるもの	6	4	10	4	11	4
精神科病院の管理者の届出によるもの	0	0	0	0	0	0
医療観察法の規定による指定通院 医療機関の管理者及び保護観察所の長からの通報によるもの	0	0	0	0	0	0

イ 措置入院者等退院後支援事業

事業	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	備 考
措置入院者等退院後支援事業件数	0	0	0	措置入院者等に対して、本人の同意に基づいて入院中から支援を実施

(2)実地指導

事業	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)	備 考
精神科病院実地指導件数	2	3	3	大阪大学医学部附属病院、榎坂病院

(3)精神保健相談、訪問指導及び集団指導

ア 精神保健相談、訪問指導

区 分	令和5年度 (2023年度) 相談件数	令和6年度 (2024年度) 相談件数	令和7年度(2025年度)				
			相談 件数	職種(重複あり)			
				精神保健 福祉士	医師	臨床 心理士	保健師
相 談 実 人 員	417	422	565				
相 談 延 件 数 ①	2,827	2,765	2,833	1,661	153	61	1,131
(別掲) 電話・ メール相談 ※ ②	740	666	599				
訪 問 実 人 員	84	82	60				
訪 問 延 件 数 ③	255	208	147	128	7	0	34
支 援 延 件 数 ① + ② + ③	3,822	3,639	3,579				

※「匿名での電話相談」等、継続支援には至らなかった電話やメール相談、他機関からの相談件数(令和2年度分より計上)。

イ 集団指導

対 象	実施回数	参加数	備 考
精神保健福祉家族教室	2	28 人	2 回シリーズ(延べ人数)
精神保健福祉関係機関職員研修	1	53 人	吹田市精神障がいにも対応した地域包括 ケアシステム関係機関研修
アルコール教室	1	136 人	大和大学学生を対象に実施
依存症地域支援ネットワーク強化事業	2	50 人	関係機関の職員を対象に実施 OAC ミニフォーラムとして豊中市と共催

ウ 各種会議

対 象	実施回数等	備 考
吹田市精神障がいにも対応した 地域包括ケアシステム	本会議 2回 院内茶話会 1回 事例検討会議 1回 研修会 1回 事務局会議 3回	障がい福祉室と共催
豊能精神医療懇話会	1回	豊中市保健所、大阪府池田保健所と共催

エ その他の精神保健活動

区 分	内 容（主題、実施方法）
普 及 啓 発 （ 共 催 事 業 含 む ）	・アルコール関連問題啓発週間におけるロビーパネル展示（吹田市断酒会と共催） ・断酒を考える会の開催（吹田市断酒会と共催） ・吹田市断酒会50周年記念大会（吹田市断酒会と共催） ・市報すいたや本市ホームページ、吹田市公式 X 等の SNS を活用した情報発信 ・市内各大学のイントラネットを活用した情報発信 ・ハートふれあいまつり（障がい福祉室等と共催）における啓発
地域関係機関との連携	・心神喪失者等医療観察法ケア会議 ・精神保健福祉関連業務説明会 ・北ブロック保健所精神保健業務検討会議 ・重層的支援体制整備事業 ・吹田市子ども・若者支援連絡協議会 ・吹田市DVネットワーク会議 ・吹田市子供の貧困対策に関するワーキングチーム会議 ・吹田市健康医療のまちづくり推進本部作業部会
関 連 事 務	・医療保護入院に係る市長同意関連事務 ・精神科病院における各種入退院届進達事務 ・自動車税に係る生計同一証明発行事務

(4) 自殺対策事業

ア 関係会議・啓発等

事業名	回数等	構成員等
吹田市自殺対策推進庁内会議	1 回	〈構成員〉庁内 13 部局の部長
吹田市自殺対策推進庁内会議 実務担当者会議	1 回	〈構成員〉庁内 21 室課の実務担当者
吹田市自殺対策推進懇談会	1 回	〈構成員〉あかり法律事務所、吹田市医師会、吹田市薬剤師会、吹田市社会福祉協議会、吹田市民生・児童委員協議会、大阪府こころの健康総合センター、公募市民
関係機関連絡会議等	3 回	〈構成員〉 ①警察・消防・医師会・市内救急告示病院 ②市内 5 大学 ③市内 8 高校
自殺未遂者相談支援事業 事例検討会議	3 回	〈講師〉千里山みどりクリニック河原医師 〈参加者〉地域保健課職員
メンタルヘルス市民講演会	1 回	〈講師〉いちメンタルクリニック 池下医師 〈参加者〉40 人
ゲートキーパー研修等	7回 (各回の対象者、人数は 右記のとおり)	① 〈講師〉NPO 法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター理事長 北條氏 〈参加者〉市職員 81 人 ② 〈講師〉〈講師〉NPO 法人国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター理事長 北條氏 〈参加者〉市内小・中学校教員等 62 人 ③ 〈講師〉大阪精神医療センター入来医師 〈参加者〉市内小・中・高校、大学教職員 44 人 ④ 古江台中学教職員 34 人 ⑤ 関西大学第一高等学校生徒 393 人 ⑥ 薬剤師等 16 人 ⑦ 青少年室職員 21 人
ロビーパネル展示	2回	〈内容〉啓発パネルの展示及びリーフレット配架等 〈場所〉①建都クリニックモール ②千里ニュータウンプラザ 〈期間〉①令和 7(2025 年)年 9 月 10 日～16 日 ②令和 8(2026 年)年 3 月 9 日～13 日
こころの体温計		アクセス数(月平均) 2,343 回

イ 自殺未遂者支援事業等実施状況

区 分	令和5年度 (2023 年度) 相 談 延 件 数	令和6年度 (2024 年度) 相 談 延 件 数	令和7 年度 (2025 年度) 相 談 延 件 数
自殺未遂者相談支援事業	389	375	546

6 難病対策(根拠法令 難病の患者に対する医療等に関する法律)

難病患者が地域で安心して療養生活を行うことができるよう、地域における医療提供体制を確保するとともに、難病患者の社会参加を支援し、地域で尊厳をもって生きられる共生社会の実現を推進する。

事業及び取組内容として、医療費助成の窓口、訪問等による個別支援のほか、各種講演会、関係機関会議、啓発活動等を通じて、難病患者の療養生活支援体制の構築、災害時を想定した支援体制の構築、就労を始めとした社会参加への支援等を進めている。

(1) 在宅難病患者個別支援

ア 指定難病に係る医療給付申請受付及び個別支援

年度		申請受付状況		個別援助実施状況				
		新規受付	更新受付	面接件数	訪問件数	電話等件数	他機関連絡件数	ケース会議件数
令和5年度(2023年度)計		628	3,122	672	371	849	785	32
令和6年度(2024年度)計		669	3,236	828	519	1,251	1,284	50
令和7年度(2025年度)計		629	3,379	755	243	702	1,030	76
疾患群	神経・筋疾患	189	962	286	210	484	798	51
	血液系疾患	29	113	38	0	13	5	1
	免疫系疾患	124	732	113	6	50	63	7
	内分泌系疾患	15	90	19	5	23	26	6
	代謝系疾患	15	55	20	2	8	9	0
	循環器系疾患	15	112	21	6	32	20	2
	呼吸器系疾患	47	114	46	4	21	13	3
	消化器系疾患	107	779	110	6	33	70	4
	皮膚・結合組織疾患	26	75	24	1	12	12	0
	骨・関節系疾患	22	114	28	2	12	4	1
	腎・泌尿器系疾患	27	170	25	0	4	0	0
	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	4	6	1	1	6	10	1
	視覚・聴覚平行機能・耳鼻科系疾患	9	57	24	0	4	0	0

イ その他、難病に係る個別支援

面接件数	訪問件数	電話等件数	他機関連絡件数	その他	計
2	1	20	3	1	27

※指定難病に係る医療給付申請前の相談等

ウ 特定疾患に係る医療給付申請受付及び個別支援

疾 患	新規受付	更新受付	相談件数	訪問件数
スモン、難治性肝炎のうち劇症肝炎 急性重症膵炎、プリオン病※	0	0	0	0

※ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)が対象

エ 専門相談

職 種	令和5年度(2023年度)	令和6年度(2024年度)	令和7年度(2025年度)
	訪問延件数	訪問延件数	訪問延件数
理 学 療 法 士	1	0	0
作 業 療 法 士	3	1	2
言 語 聴 覚 士	3	2	4
臨 床 心 理 士	1	3	1
合 計	8	6	7

オ 就労相談会

	保健所実施件数	市立吹田市民病院実施件数
令和5年度(2023年度)	10	1
令和6年度(2024年度)	9	2
令和7年度(2025年度)	6	2

(2) 集団支援

ア 医療講演会

対 象 疾 患	開催回数	会場参加者 (別掲:動画視聴延数※)	備 考 (内 容 等)
血管炎	1	38 (18)	専門医による疾患と療養生活についての講義 患者交流会(会場参加者のみ)
クローン病	1	33 (144)	専門医による疾患と療養生活についての講義、患者会より活動等説明 患者交流会(会場参加者のみ)

※後日、動画配信を実施(視聴数は血管炎は申込者のみの限定公開の総数、クローン病は一般公開の総数)

イ 関係機関向け講演会

対 象 疾 患	開催回数	会場参加者 (別掲:動画 視聴延数※)	備 考 (内 容 等)
ALSの病態・治療と、 地域で生活する ALS 患者への支援のあり方	1	29 (127)	専門医による疾患と支援についての講義 難病医療コーディネーターによる支援について の講義 事例検討、交流会(会場参加のみ)
防災スキルアップ研修	1	26	吹田市担当部署職員による講義 (災害時要援護者名簿登録、個別避難計画、障 害者福祉サービスの案内等) 災害伝言サービス模擬訓練、意見交換

※ALSについては、後日動画配信を実施(視聴数は関係機関のみの限定公開の総数)

(3) 関係者会議等

会 議 名	参加機関	開催日	備 考(内容等)
大阪北部地域神 経筋難病ネットワ ーク会議	大阪府池田保健所、 吹田市保健所、地域 医師会 (事務局)豊中市保健 所、大阪刀根山医療 センター	<会議> 令和7年(2025 年)11月13日	「移行期医療」 移行期医療の現状に関する報告、意見交 換
		<研修会> 令和8年(2026 年)3月7日	「移行期医療」 移行期医療と成人移行支援に関する講義、 関係機関からの現状報告、意見交換
北ブロック保健所 難病担当者会議	大阪府池田・茨木保 健所、高槻市・豊中市 保健所 (事務局)吹田市保健 所	令和7年(2025 年)6月26日	令和6年度事業報告、災害時支援対策、就 労相談会等、難病対策に関する取組状況報 告、意見交換
		令和8年(2026 年)2月4日	令和7年度難病対策に関する取組状況等進 捗報告、防災訓練の取組報告、令和8年度 計画、意見交換
市立吹田市民病 院との難病支援に 関する連携会議	市立吹田市民病院 吹田市保健所 ※第2回は事例の関 係機関も参加	令和7年(2025 年)7月28日	保健所における指定難病の申請・支援等取 組状況、災害時支援対策報告 吹田市民病院の難病対策に関する取組報 告
		令和8年(2026 年)2月17日	保健所の難病対策に関する取組報告、 吹田市民病院の難病対策に関する取組報 告 事例検討、意見交換

(4) 普及啓発

名称	時期	啓発媒体・内容
難病の日	令和7年(2025年) 5月23日～	吹田市ホームページ、SNS
世界希少・難治性疾患の日	令和8年(2026年) 2月28日～	吹田市ホームページ、SNS

7 放射線業務

(1) 保健所におけるエックス線撮影

接触者健康診断は、感染症法第17条及び府の結核健診方針の趣旨を踏まえ所内及び所外で胸部エックス線撮影を行っている。

ア 所内のエックス線撮影件数

区分	所内						
	開催 回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生 (再掲)	施設利用 等 その他	合計
令和5年度 (2023年度)	37	40	42	12	(0)	0	94
令和6年度 (2024年度)	40	47	17	17	(0)	0	81
令和7年度 (2025年度)	33	46	13	28	(0)	0	87
定 例	17	35	12	24	(0)	0	71
定例外	16	11	1	4	(0)	0	16

イ 所外のエックス線撮影件数

区分	所外(検診車による委託検診)						
	開催 回数	撮影件数					
		管理	家族	接触者等	集団発生 (再掲)	その他	合計
令和5年度 (2023年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
令和6年度 (2024年度)	0	0	0	0	(0)	0	0

令和7年度 (2025年度)	0	0	0	0	(0)	0	0
定 例	0	0	0	0	(0)	0	0
定例外	0	0	0	0	(0)	0	0

(2)医療放射線管理業務

医療法第25条第1項及び立入検査要綱に基づき病院等の立入検査を実施し、適切な医療放射線管理の確保に努めた。

ア 立入検査(医療監視)

区 分	病 院	透析 診療所	療養病床 診療所	有床 診療所	他診療所	歯科 診療所
令和5年度(2023年度)	15	0	0	1	0	0
令和6年度(2024年度)	15	2	0	0	0	0
令和7年度(2024年度)	15	2	0	0	0	0
定例立入検査	15	2	0	0	0	0
定例外(臨時)立入検査	0	0	0	0	0	0

イ 医療法に基づく許可・届出収受

区 分	X線装置	治療装置	密封線源治 療	同位元素	治験薬等
令和5年度(2023年度)	110	0	0	7	0
令和6年度(2024年度)	93	0	0	5	0
令和7年度(2025年度)	117	6	0	7	0
放射線診療装置の許可申請	14	3	0	1	0
放射線診療装置の届出	103	3	0	6	0

ウ 放射線関連相談業務

区 分	被ばく相談	施設(設備)相談	その他
令和5年度(2023年度)	3	18	0
令和6年度(2024年度)	2	14	0
令和7年度(2025年度)	2	16	0

8 予防接種（根拠法令：予防接種法）

(1) 予防接種事業(A 類疾病の定期接種)

人から人に伝染することによるその発生及びまん延を予防するため、又はかかった場合の病状の程度が重篤になり、若しくは重篤になるおそれがあることからその発生及びまん延を予防するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾患。集団予防に重点を置き実施。接種の努力義務あり。

ア 時 期 通年実施

イ 方 法 個別接種

ウ 費 用 無料

エ 実施場所 市内予防接種協力医療機関

オ 実 績

(単位:人・%)

年 度		令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
種 類				
1価ロタウイルス ワクチン	対 象 者	3,002	2,836	2,586
	被 接 種 者	2,943	2,792	2,553
	(再掲)他市で接種	296	257	257
	接 種 率	98.0	98.4	98.7
	委 託 料 件 数	3,024	2,851	2,565
	(再掲)他市民	377	316	269
5価ロタウイルス ワクチン	対 象 者	4,173	4,272	4,284
	被 接 種 者	4,105	4,207	4,232
	(再掲)他市で接種	179	164	172
	接 種 率	98.4	98.5	98.8
	委 託 料 件 数	4,526	4,737	4,671
	(再掲)他市民	600	694	611
B型肝炎ワクチン	対 象 者	8,676	8,526	8,163
	被 接 種 者	8,726	8,483	8,203
	(再掲)他市で接種	570	500	516
	接 種 率	100.6	99.5	100.5
	委 託 料 件 数	9,345	9,141	8,751
	(再掲)他市民	1,189	1,158	1,064
小児肺炎球菌 ワクチン	対 象 者	11,712	11,522	11,035
	被 接 種 者	11,711	11,481	11,085
	(再掲)他市で接種	712	632	651
	接 種 率	100.0	95.6	100.5
	委 託 料 件 数	12,628	12,459	11,873
	(再掲)他市民	1,629	1,610	1,439

(単位:人・%)

種 類	年 度	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
BCGワクチン	対 象 者	2,892	2,842	2,721
	被 接 種 者	2,973	2,866	2,793
	(再掲)他市で接種	114	118	125
	接 種 率	102.8	100.8	102.6
	委 託 料 件 数	3,147	3,035	2,912
	(再掲)他市民	288	287	244
Hib(ヒブ)ワクチン	対 象 者	11,712	※	※
	被 接 種 者	11,733	3,118	105
	(再掲)他市で接種	711	158	9
	接 種 率	100.2	※	※
	委 託 料 件 数	12,653	3,422	111
	(再掲)他市民	1,631	462	15
4種混合ワクチン (DPT-IPV)	対 象 者	11,712	※	※
	被 接 種 者	12,451	3,781	693
	(再掲)他市で接種	744	191	32
	接 種 率	106.3	※	※
	委 託 料 件 数	13,444	4,102	762
	(再掲)他市民	1,737	512	101
5種混合ワクチン (DPT-IPV-Hib)	対 象 者	-	11,522	11,035
	被 接 種 者	-	8,999	11,140
	(再掲)他市で接種	-	470	646
	接 種 率	-	※	101.0
	委 託 料 件 数	-	8,985	11,949
	(再掲)他市民	-	456	1,455
麻しん・風しん混合 (MR)ワクチン1期	対 象 者	3,036	2,996	2,872
	被 接 種 者	2,997	2,850	2,875
	(再掲)他市で接種	118	119	62
	接 種 率	98.7	95.1	100.1
	委 託 料 件 数	3,321	3,092	3,230
	(再掲)他市民	442	361	417

※ 令和6年度から、4種混合ワクチンとHib(ヒブ)ワクチンを合わせた5種混合ワクチンの使用が認められた。令和6年度からは5種混合ワクチンを主に用いることとされているが、4種混合ワクチンとHib(ヒブ)ワクチンを接種することも可能。そのため、接種率等については記載していない。

(単位:人・%)

種 類	年 度		令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
麻しん・風しん混合 (MR)ワクチン2期	対 象 者		3,506	3,416	3,252
	被 接 種 者		3,341	3,229	3,062
	(再掲)他市で接種		164	133	65
	接 種 率		95.3	94.5	94.2
	委 託 料 件 数		3,500	3,459	3,386
	(再掲)他市民		323	363	389
水痘(水ぼうそう) ワクチン	対 象 者		6,241	6,026	5,834
	被 接 種 者		5,852	5,729	5,468
	(再掲)他市で接種		243	230	225
	接 種 率		93.8	95.1	93.7
	委 託 料 件 数		6,484	6,261	6,023
	(再掲)他市民		875	762	780
日本脳炎ワクチン1期	対 象 者		9,799	9,710	9,308
	被 接 種 者		10,072	9,752	9,344
	(再掲)他市で接種		421	440	161
	接 種 率		102.8	100.4	100.4
	委 託 料 件 数		11,032	10,669	10,577
	(再掲)他市民		1,381	1,357	1,394
日本脳炎ワクチン2期	対 象 者		3,620	3,705	3,696
	被 接 種 者		3,721	3,462	3,065
	(再掲)他市で接種		153	155	53
	接 種 率		102.8	93.4	82.9
	委 託 料 件 数		3,719	3,487	3,245
	(再掲)他市民		151	180	233
ジフテリア・破傷風混合 (DT)ワクチン	対 象 者		3,652	3,649	3,270
	被 接 種 者		2,994	3,032	3,015
	(再掲)他市で接種		125	121	95
	接 種 率		82.0	83.1	92.2
	委 託 料 件 数		2,958	3,032	3,080
	(再掲)他市民		89	121	160

(単位:人・%)

年 度		令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
種 類				
HPVワクチン※	対 象 者	5,037	5,424	5,364
	被 接 種 者	5,745 (2,238)	14,266 (3,593)	4,457 (2,999)
	(再掲)他市で接種	203	506	161
	接 種 率	44.4	66.2	55.9
	委 託 料 件 数	5,789	14,369	4,484
	(再掲)他市民	247	609	188

※被接種者数はキャッチアップ接種を含む。()内は従来の定期接種(小学6年生から高校1年生相当)の数。対象者及び接種率は従来の定期接種対象者の数をもとに算出。

(2) 予防接種事業(B 類疾病の定期接種)

個人の発病またはその重症化を防止し、併せてこれによりそのまん延の予防に資するため特に予防接種を行う必要があると認められる疾患。個人予防に重点を置き実施。接種の努力義務なし。

ア 対 象

種 類	対 象 年 齢 等
高齢者インフルエンザワクチン 高齢者新型コロナワクチン(※1)	① 65 歳以上で接種を希望する者 ② 60 歳以上65 歳未満で心臓・じん臓・呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい(身体障がい者手帳1級相当)を有する者のうちで接種を希望する者
高齢者肺炎球菌ワクチン(※2)	23 価肺炎球菌ワクチンを既に受けた者は対象から除く ① 65 歳の者で接種を希望する者 ② 60 歳以上65 歳未満で心臓・じん臓・呼吸器の機能又は、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がい(身体障がい者手帳1級相当)を有する者のうちで接種を希望する者
高齢者带状疱疹ワクチン(※3)	① 予防接種実施年度に 65 歳、70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳になる者、又は 101 歳以上になる者 ② 60 歳以上 65 歳未満で、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に障がい(身体障がい者手帳1級相当)を有する者のうちで接種を希望する者(心臓・じん臓・呼吸器は対象外) ③ 生水痘ワクチンと組み換えワクチンの2種類から選択

(※1)新型コロナワクチン

令和3年(2021年)2月から令和6年(2024年)3月31日までは特例臨時接種として実施していたが、令和6年度(2024年度)からは定期接種として実施。

(※2)高齢者肺炎球菌ワクチン対象者の特例措置

平成26年度(2014年度)から平成30年度(2018年度)に限り、経過措置として、当該年度に65歳以上で5歳節目の年齢になる者(平成26年度(2014年度)は101歳以上)を対象に実施。

さらに令和元年度(2019年度)から令和5年度(2023年度)まで経過措置期間が延長され、当該年度に65歳以上で5歳節目の年齢になる者(令和元年度(2019年度)は101歳以上)を対象に実施。
令和6年度(2024年度)からは毎年度65歳になる者を対象に実施。

(※3)高齢者带状疱疹ワクチン対象者の特例措置

令和7年度(2025年度)から高齢者带状疱疹ワクチンを定期接種として実施。

令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)に限り、経過措置として、当該年度に65歳以上で5歳節目の年齢になる者(令和7年度(2025年度)に限り101歳以上全員対象)を対象に実施。
以降は毎年度65歳になる者を対象に実施予定。

- イ 時 期 (ア) 高齢者インフルエンザワクチン…10月1日～1月31日
(令和5年度(2023年度)及び令和6年度(2024年度)は12月31日まで)
(イ) 高齢者新型コロナワクチン…10月1日～1月31日
(令和6年度(2024年度)は12月31日まで)
(ウ) 高齢者肺炎球菌ワクチン…通年実施
(エ) 高齢者带状疱疹ワクチン…通年実施

ウ 方 法 個別接種

エ 費用 (自己負担金)

種類	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
高齢者インフルエンザワクチン	1,500円	1,500円	1,500円
高齢者 新型コロナワクチン	—	3,000円	8,000円
高齢者 肺炎球菌ワクチン	2,000円	2,000円	2,000円
高齢者带状疱疹 ワクチン(生水痘)	—	—	4,500円
高齢者带状疱疹 ワクチン(組換え)	—	—	11,000円 (2回接種)

※生活保護世帯又は市民税非課税世帯、中国残留邦人等支援給付受給世帯の方は免除

オ 実施場所 市内予防接種協力医療機関

カ 実 績

(単位：人・％)

種 類 \ 年 度		令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
高齢者インフルエンザ [*] ワクチン	対 象 者	90,949	91,144	91,591
	被 接 種 者	52,642	50,500	49,833
	(再掲)他市で接種	5,037	4,644	4,604
	接 種 率	57.9	55.4	54.4
	委 託 料 件 数	50,712	49,014	49,013
	(再掲)他市民	3,107	3,158	3,784
高齢者新型コロナ ワクチン	対 象 者	－	91,144	91,591
	被 接 種 者	－	25,776	13,642
	(再掲)他市で接種	－	2,303	1,435
	接 種 率	－	28.3	14.9
	委 託 料 件 数	－	24,724	13,097
	(再掲)他市民	－	1,251	890
高齢者肺炎球菌 ワクチン	対 象 者	13,394 (3,804)	3,685	3,706
	被 接 種 者	3,538 (1,465)	1,076	1,422
	(再掲)他市で接種	217	46	49
	接 種 率	26.4 (38.5)	29.2	38.4
	委 託 料 件 数	3,407	1,073	1,411
	(再掲)他市民	86	43	38

(単位：人・%)

種 類	年 度		令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
	対 象 者				
高齢者带状疱疹ワクチン			-	-	19,586 (3,733)
	生水痘ワクチン	被 接 種 者	-	-	1,529 (339)
		(再掲)他市で接種	-	-	90
		接 種 率	-	-	7.8 (9.1)
		委 託 料 件 数	-	-	1,494
		(再掲)他市民	-	-	55
	組換えワクチン 1回目	被 接 種 者	-	-	4,030 (975)
		(再掲)他市で接種	-	-	229
		接 種 率	-	-	20.5 (26.1)
		委 託 料 件 数	-	-	7,729
		(再掲)他市民	-	-	292
	組換えワクチン 2回目	被 接 種 者	-	-	3,855 (930)
		(再掲)他市で接種	-	-	219
		接 種 率	-	-	19.6 (24.9)
		委 託 料 件 数	-	-	7,729
		(再掲)他市民	-	-	292

※高齢者肺炎球菌ワクチンの令和5年度の()内は 65 歳の数及び値

※高齢者带状疱疹ワクチンの()内は年度内に 65 歳になる者の数及び値

※高齢者带状疱疹ワクチンの組換えワクチンの委託料件数及び他市民件数については組換えワクチン全体の件数

(3) 風しんに関する追加的対策(風しん第5期定期接種)

ア 目 的 風しんの発生状況等を踏まえ、風しんの感染拡大防止のための追加的対策として、これまでに公的接種機会がなく、抗体保有率の低い世代の男性を対象に、風しん抗体検査及び予防接種を実施する。

イ 対 象 昭和 37 年(1962 年)4月2日から昭和 54 年(1979 年)4月1日まで
の間に生まれた男性

ウ 実施方法 市は、医療関係機関、事業者団体等と連携して、できる限り対象者の利便性の向

上を図る。特定健康診査、事業所の定期健康診査等を利用して抗体検査を実施。抗体検査及び予防接種を全国において無料で受けられるように、対象者にクーポン券を送付。

- エ 実施期間 令和元年度(2019 年度)～令和6年度(2024 年度)
- ※ 令和4年(2022 年)2月 16 日付の国からの通知で、実施期間が令和4年(2022 年)4月1日から令和7年(2025 年)3月 31 日まで延長された。
- ※ 令和6年度(2024 年度)末までに抗体検査を実施した結果、抗体が不十分で、ワクチンの偏在等が生じたことを理由に接種ができなかった者については、令和7年(2025 年)4月1日～令和9年(2027 年)3月 31 日までの2年間、接種を実施。

- オ 実績 クーポン券送付
- 令和3年度(2021 年度)：対象者のうち、抗体検査未受検者及び予防接種未接種者(※)にはがきで再勧奨
- 令和4年度(2022 年度)：対象者のうち、抗体検査未受検者にクーポン券を再送付
- 令和5年度(2023 年度)：予防接種未接種者(※)にはがきで接種勧奨
- 令和6年度(2024 年度)：対象者のうち、抗体検査未受検者にクーポン券を再送付
- 令和7年度(2025 年度)：予防接種未接種者(※)にはがきで再度接種勧奨

(※) 予防接種未接種者:抗体検査の結果、抗体価が十分でないと判断されたが予防接種未接種の者

(単位:人)

区 分	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
クーポン・はがき送付数	442	34,580	506
抗体検査人数	559	1,901	—
予防接種人数	139	325	44

(4) 風しんワクチン等接種事業費補助事業(大阪府の補助を受け実施)

- ア 目的 風しん予防接種に係る費用の一部を公費助成することにより予防接種の促進に繋げ、出生児の先天性風しん症候群の発症防止を図る。
- イ 対象 妊娠を希望する女性及びその配偶者、妊娠している女性の配偶者等のうち、風しん抗体検査の結果、十分な抗体価がなく予防接種が必要な人
- ウ 助成額 (ア)麻しん風しん混合ワクチン接種…7,000円を上限に助成
(イ)風しん単独ワクチン接種 …4,500円を上限に助成
※抗体検査については、全額公費負担(本人負担はなし)
- エ 方法 償還払い

オ 実 績

(単位:人)

区 分	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
抗体検査人数	1,154	1,145	1,027
ワクチン接種人数	550	457	471

カ 備 考

平成 25 年度(2013 年度)は緊急風しん予防対策事業(単年度事業)として、19 歳以上の市民のうち、妊娠を希望する女性及び妊娠している女性の配偶者を対象に実施。平成 26 年度(2014 年度)から平成 30 年度(2018 年度)の5年間、府の補助事業として実施。その後、平成 30 年度(2018 年度)の風しんの流行を受け、大阪府の補助事業として延長される。また、令和6年度(2024 年度)からは同居者へも対象が拡充される。

(5) 造血細胞移植後定期予防接種ワクチン再接種費用補助事業(大阪府の補助を受け実施)

ア 目 的 定期予防接種で得た免疫が造血細胞移植や医療行為によって失われた場合の再接種費用を 助成することで、疾病の発病及び感染症のまん延を防止するとともに、被接種者(保護者)の負担軽減を図る。

イ 対 象

(ア) 造血細胞移植や医療行為によって移植前に接種した定期の予防接種ワクチンの免疫が低下又は消失したため、再接種が必要と医師が認める人

(イ) 予防接種を受ける日において吹田市に住民登録がある 20 歳未満の人

(ウ) 平成30年(2018 年)4月1日以降の再接種であること

ただし、化学療法により過去に接種した定期接種ワクチンの免疫が低下、または消失した場合は令和6年(2024 年)4月1日以降の再接種であること

(エ) 接種済の定期接種の接種回数及び接種間隔が予防接種実施規則の規定によるものであること

ウ 内 容 移植前に接種した定期予防接種ワクチンの再接種に要した費用を助成する。

※助成金額には上限あり

エ 実 績

(単位:人・件)

区 分	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
助成実人数	4	2	2
助成延べ件数	5	3	14

(6) 任意インフルエンザワクチン接種費用助成事業

ア 目 的 中学3年生は、インフルエンザへの感染により受験等の機会を逸失することで、その後の人生に大きな影響を及ぼすことから、感染予防に有効なインフルエンザワクチン接種を推奨し、ワクチン接種に係る自己負担の軽減のため、費用の一部を助成する。

イ 対 象 中学3年生

ウ 助成額 2,000円(1回分のみ)

エ 実 績

(単位:人)

区 分	令和5年度 (2023 年度)	令和6年度 (2024 年度)	令和7年度 (2025 年度)
助成券送付数	3,499	3,674	3,490
助成人数	1,473	1,781	1,602

※令和6年度助成人数に誤りがあったため修正

(7) 予防接種業務の経緯

ア 令和5年度(2023 年度)

(ア) HPV 感染症の定期の予防接種において、9価ワクチンが使用可能となった。

(イ) HPV ワクチンのキャッチアップ接種が令和6年度(2024 年度)末で終了すること等を踏まえ、吹田市医師会や関係室課と連携し、市内大学のイントラネットや学園祭(千里金蘭大学)での出展、大阪大学が実施したセミナーの後援、市内中学校でのポスター掲示等の啓発・周知広報を実施した。

(ウ) 新型コロナワクチンの特例臨時接種が令和6年(2024 年)3月 31 日で終了。

(エ) 高齢者肺炎球菌ワクチンの 65 歳以上の方への接種機会を付与するための対象者拡大の経過措置が終了。

イ 令和6年度(2024 年度)

(ア) 新型コロナワクチンの定期接種が開始。

(イ) HPV ワクチンのキャッチアップ接種が終了。ただし一時的に HPV ワクチンの供給不足があったことから、キャッチアップ接種の期間中に1回以上接種し、3回接種が完了していない人を対象に接種期間が1年間延長されることになった。

(ウ) 風しん第5期定期予防接種は令和6年度(2024 年度)で終了予定であったが、MR ワクチンの供給不足があったことから、予防接種のみ接種期間が令和9年(2027 年)3月 31 日までの2年間延長されることになった。抗体検査は終了。

(同様に、令和6年度(2024 年度)に麻しん・風しん第1期、第2期の対象であった者に対しても接種期間が延長されることになった。)

ウ 令和7年度(2025 年度)

(ア) 高齢者带状疱疹ワクチンの定期接種が開始。

(イ) 高齢者新型コロナワクチンについて、国からの助成金が無くなったため、自己負担金が3,000円から8,000円へ増額となった。

(ウ) 予防接種後の副反応等に関する専門相談を開始。

(8) 吹田市予防接種健康被害調査委員会(根拠法令 予防接種法)

ア 概 要

市長の諮問に応じ、予防接種法の規定により市長が実施した予防接種に起因する健康被害について調査審議し、答申する。なお、その結果は大阪府を経由して国へ進達される。

イ 実 績

	開催 回数	会 議 内 容
令和5年度(2023 年度)	3	予防接種による13件の健康被害について調査審議を行う。
令和6年度(2024 年度)	2	予防接種による12件の健康被害について調査審議を行う。
令和7年度(2025 年度)	2	予防接種による7件の健康被害について調査審議を行う。

(10) 予防接種後の副反応等に関する専門相談

ア 概 要

予防接種の副反応等に関することや、安全性・有効性に関すること、健康被害に関することなどの相談について看護師が対応する。毎週火曜日(予約優先)。

イ 実 績

	相談件数
令和7年度(2025 年度)	1

第10 学会活動

1 学会発表

土岐美月、今井里佳、東淳子、勇上清子、林美奈子、松林恵介、狭間礼子・中核市保健所の強みを活かした難病患者への災害時支援と展望～難病患者及び医療機関への防災に関するアンケート結果から見る課題と対策～・第64回近畿公衆衛生学会・和歌山市(2025)

2 その他

田畑三由紀、廣瀬智恵子・大阪府吹田市の高齢者施設感染対策支援～保健所とICNと高齢者施設のスーパの冷めない距離感づくり～・製薬会社シンポジウム・大阪市(2025)